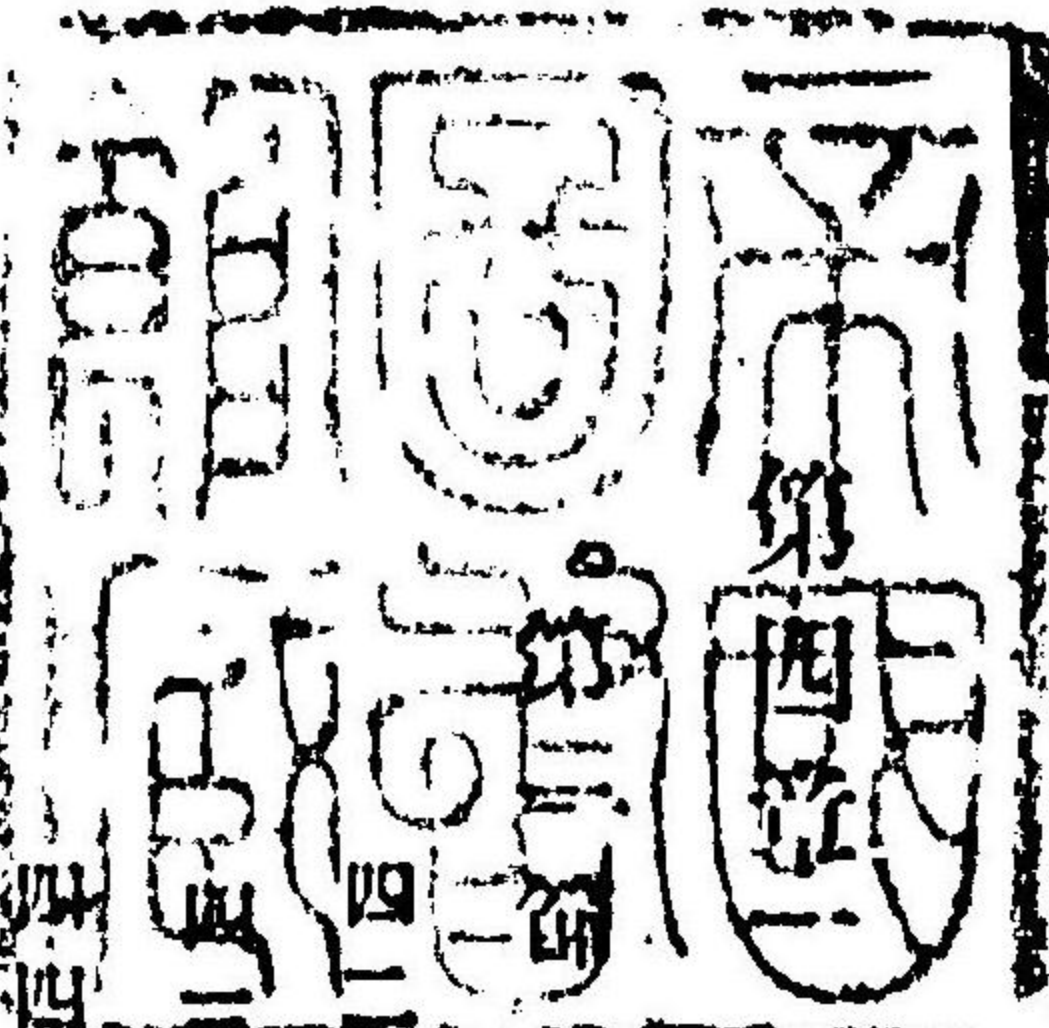


最近地理學教科書 外國之部 中卷 目次



ヨーロッパ

總論

一 アジア及びヨーロッパの比較

二 位置、境界及び面積

三四 地勢

四五 水誌

四六 氣候

四七 人文地理

第二節 ロシア

四八 地文地理

四九 人文地理

五〇 地方誌



一〇
一七
一五
一五
一
八
一〇
一
三
一
一〇
一七
一五
一〇

第三節 北部ヨーロッパ

二五

五一、スウェーデン、ノルウェー

二五

五二、デンマーク

三〇

第四節 中部ヨーロッパ

三三

五三、ドイツ

三三

五四、オーストリア、ハンガリー

四一

五五、スイツル

四七

五六、オランダ

五一

五七、ベルギー

五五

第五節 西部ヨーロッパ

五九

五八、イギリス諸島

五九

五九、フランス

七一

第六節 南部ヨーロッパ

七八

六〇、スペイン

七八

六一、ポルトガル

八三

六二、イタリア

八六

六三、バルカン半島の諸邦

九二

最近地理學教科書 外國之部 中卷 插圖畫目錄

島・半島及び木陸の割合	三	イギリスの領地	六五
○ヨーロッパの地勢	五	○大都府面積の比較	六七
○ヨーロッパ内地と海岸の距離	六	○葡萄の産地	七三
△モスコーの巨鐘	三三	葡萄酒産額	七三
ノルウェーの峽灣	三六	エマンル塔	七五
貯金銀行預金高	三〇	銅産額	八〇
麥酒産額	三七	國債額人口一人割	八四
砂糖産額	三七	○マツリア地方	八七
プスタの景	四二	○印ソ附スルモノ	Mill-The International Geogra-
○セントゴータード大隧道	四八	phyニヨリ、○印マ附スルモノ	Sebel-Geogra-
オランダの地勢	五二	phisches Handbuch zu Andrees Handatlas	マツ
○ヘルギーの鐵道	五七	リ、○印マ附スルモノ	Macmillan's Geographi-
○イギリスの鐵道	六四	cal Readers	ヨル。

最近地理學教科書 外國之部中卷

理學士 山上 萬次郎 著

第四章 ヨーロッパ

Europe

第一節 總論

四二、アジア及びヨーロッパの比較。

類似の點は左の如し。

イ、三個の大半島ありて皆南に向ふ、アジアに於てはマラ
 イ、印度及びアラビア、ヨーロッパに於てはバルカン・イタリ
 及びアイベリアこれなり。
 Iberia

ロ、南東に一大群島あり、アジアに於ては東印度群島ヨ
 ー

ロ、バに於てはギリシアの群島に於ては、
 ハ、分水界の大中心は少しく南部に偏し、河流はこれより
 四方に向ふ、アジアに於てはバミール四近、ヨーロッパに於て
 はアルプスこれなり。

反對の點は左の如し。

アジア

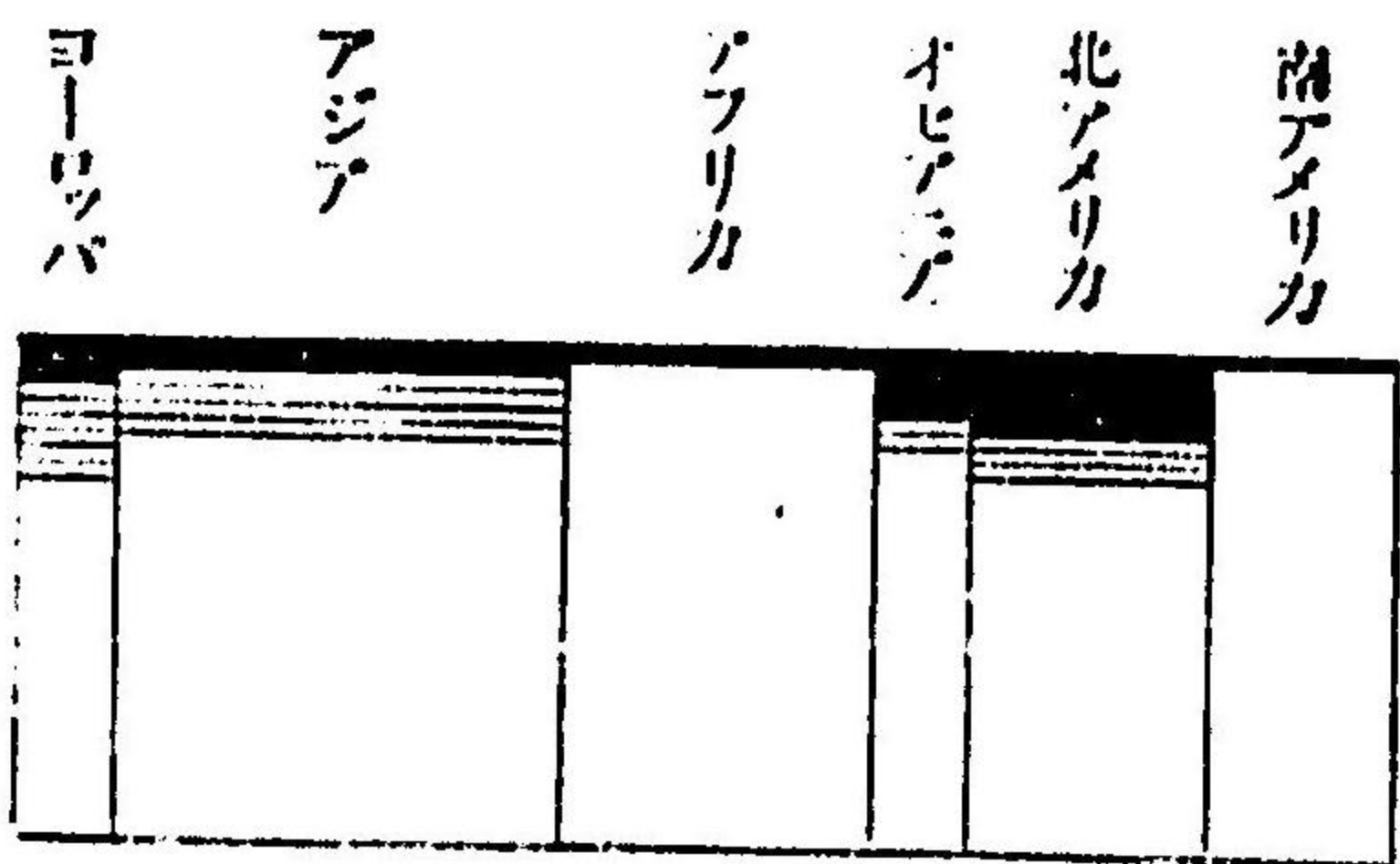
ヨーロッパ

イ、最大の大陸なり。
 ロ、海岸線比較的短し。
 ハ、雙子河多し。
 ニ、大部は大陸性氣候を有す。
 ホ、廣大なる砂漠あり。
 ヘ、邦制上に於て、大部はヨ

イ、最小の大陸なり。
 ロ、海岸線比較的長し。
 ハ、雙子河なし。
 ニ、大部は海洋性氣候を有す。
 ホ、砂漠なし。
 ヘ、地勢上に於て、全くアジア

シヤ
 ヲ
 ヲ
 ヲ
 ヲ

島・半島及び本陸の割合



島 ■■■ 半島 ■■■■ 本陸 □□□□

ロ、バの附屬たり。

ヨーロッパ大陸に於ては、半島及び島の本陸に對する面積は、他大陸に比して、其の割合最も大なり、北アメリカも殆んどこれに劣らざれども、其の半島及び島の大部が北氷洋中にある傾點あり。

の半島なり。

四三、位置境界及び面積。
 位置。ヨーロッパはアジアの西方に突出する半島狀の大陸なり、而して世界諸大陸の密接中央を占む。

ヨーロッパの北部は少しく北極圏

に入るのみにして、大部分は北温帯中に位す。

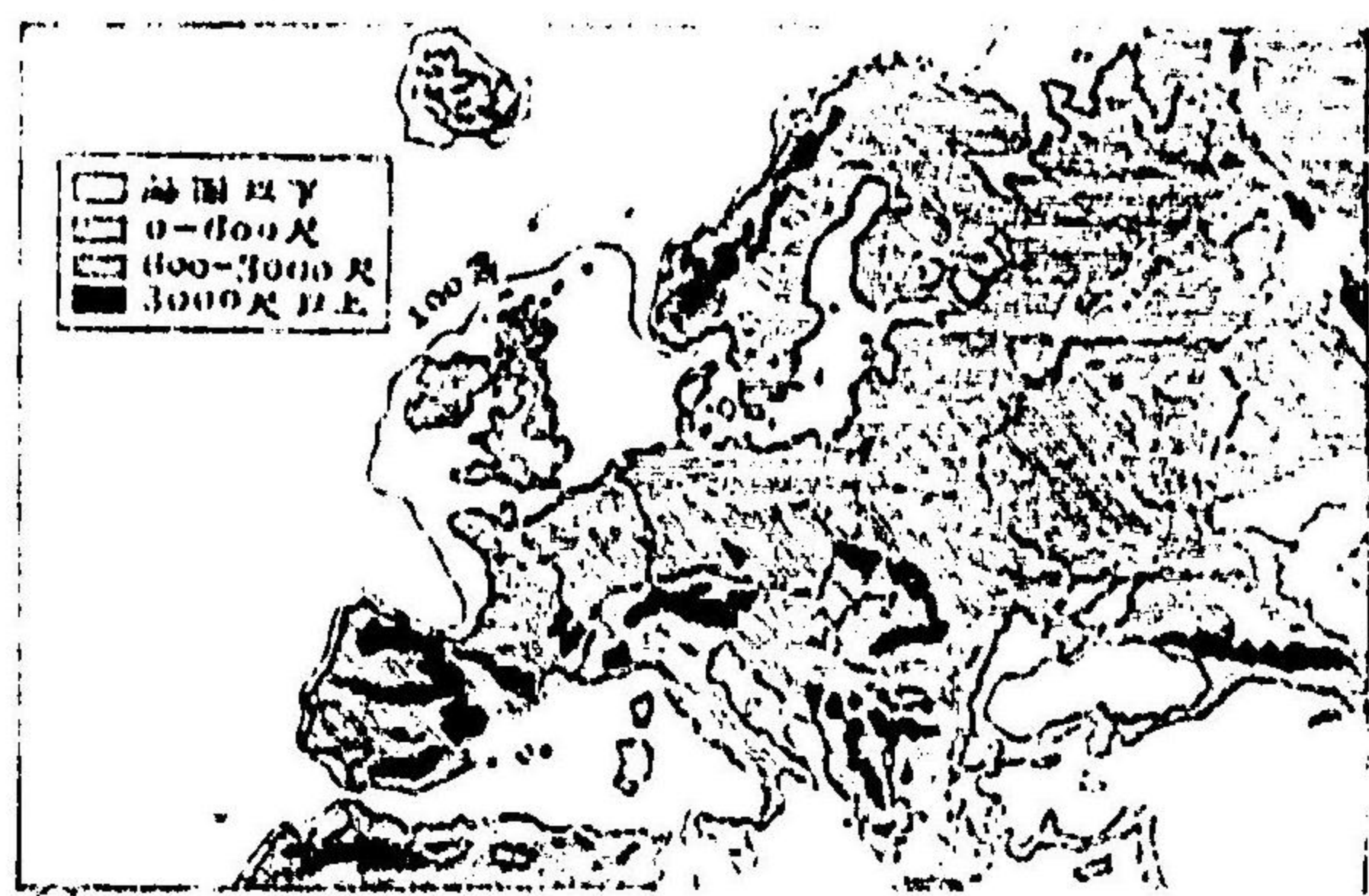
境界。北は北氷洋に面し、南は地中海に臨み、東はウラル山脈及び裏海を以て、アジアに境し、西は大西洋に面す。面積。ヨーロッパの面積は凡そ六十餘萬方里にして、六大洲、中オセアニアを除き最も小なり。即ちアジアの四分の一よりも小にして、又清國の全土よりも小なり。而して全世界陸地の凡そ十三分の一よりも小なり。

四四、地勢。

地勢上ヨーロッパを左の四部に大別す。

北西部の高地。スカンデナヴィア半島の全土及びイギリスの北部を構成す。

南部の高地。アルプス山系はこれが主たるものにして、殆んど東西に走り、ピレニース山脈は其の西に連亘し、Pyrenees Carpathian



勢地のヨーロッパ

バシアン山脈は其の東に連る。

アルプス山系の最高點モンア

ランは殆んど一萬六千尺に達し、Mont Blanc

フランスの領土中にあり、其の他

雪線を抜ける高峯少からず。ア

ルプス山系の地方は湖水多く、風

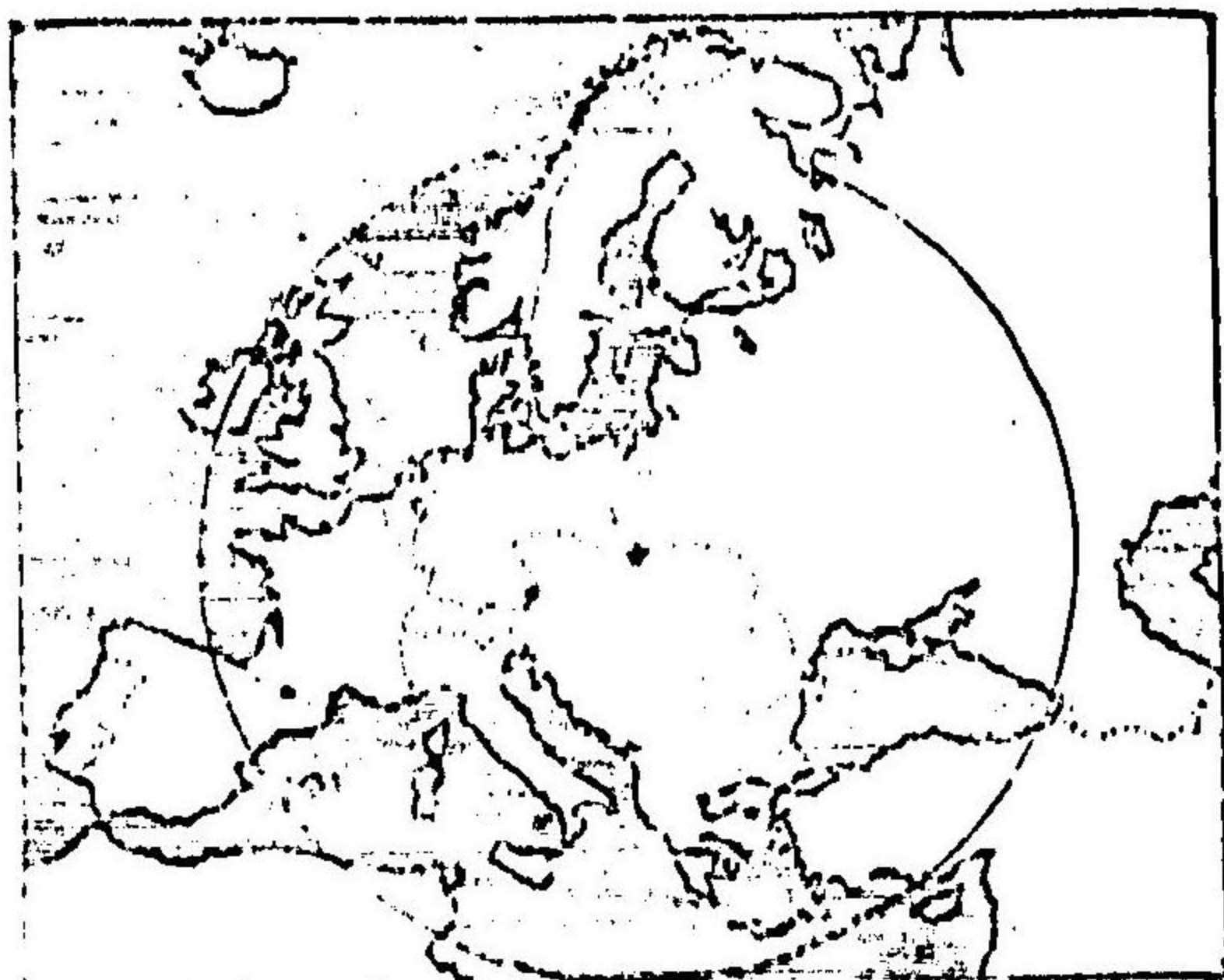
景美にして、氷河の現象に富む。

又峠の數少からざれども、鐵道、隧

道の貫通によりて、交通に支障な

し。

北部の低地。一面の平地にして、西部には海面より低き所あり、又東部は一大平原を成し、其中稍高き所はロシア



諸大河の分水界を成す。東部の高地。ウラル山脈南に走り、畧ぼアジアとの境を成す、其の高度は大ならず。火山脈。地中海の沿岸には、火山脈少からず、其の中に位する火山中最も名あるものは、ウ・スウ・アスなり、又北西の洋中に

位する氷洲にも火山の數甚だ多し。ヨーロッパは岬半島島の外、特に内海に富めるを以て、海岸線の長さ割合に甚だ大なり、而して海岸より五百里を離るゝ内地は至て少し。

(イ)地中海及び黒海の沿岸。大西洋より入り地中海の門戸たるジブラルタル海峡を過ぎて其、東方に至れば、イタリー半島の西方に、Gibraltar ヨルシカ及びサルデニアの二島あり、南岸にシ、Sicily リー島あり、イタリーの北東にはアドリアチック海あり、これが東側は、オーストリア及び其の屬領の南西岸にして、海岸線は南東に走り、遂にバルカン半島の南部に達し、屈曲に富みたるギリシアの海岸と成り、其の東方は群島羅列して多島海の稱あり、これより北東に進み、ヨーロッパ・アジアの間なるボスフォラス海峡を過ぐれば、黒海に出づ。黒海の北部には、クリミア半島突出し、其の北西にオデッサの要港あり。

(ロ)大西洋の沿岸。大西洋岸も亦た屈曲に富む、唯アイベリア半島及びフランスの西岸は、稍出入に乏しく、ビスケイ

の大灣あるのみ、北海の沿岸は良港に富み、東側はデンマールク及びスカンデナヴィア兩半島これを限ぎ、兩半島の間は北海及びバルチック海間の門戸を成す、バルチック海は東方に一支灣を出だす、これをフランド灣と云ふ。

スカンデナヴィア半島の西岸及びイギリスの海岸は一體に屈曲に富み、殊にイギリスには良港頗ぶる多し。又イギリスの北西に當り、大西洋中遙かに氷洲の大島あり。

(ハ)北氷洋岸。此の海岸は北アメリカに於ては屈曲多けれども、ヨーロッパに於ては概するに屈曲に乏しく、島嶼も亦た多からず。

四五、水誌

ヨーロッパには河川の數多く、又一方に偏在せずして、四方

に流れ、全體に配布宜しきを得、河口は多く開て三角江となり、良港を成す、且つ支流多くは本流と直角に流れ、以て國中遠隔の地に至るの便あり、加之諸河は多く運河を以て連結せらる。

ヨーロッパには内地灌域を有する大河は裏海の斜面にウラル、ヴォルガの二河あるのみ、ヴォルガはヨーロッパ第一の長流なり、沿海灌域を有する河は黒海及び地中海の斜面にツニバー、ダニューブ、ボアの諸河あり、ダニューブはヨーロッパ第一の大河なり、大西洋の斜面に屬するものは多く、は前者に於ける如く大ならざれども水運の便は大なり、其の主なるものをセイヌ、ライン等とす、其の他北氷洋に注入するものはドゥナあり。

概するにヨーロッパの大分水界は二つあり、一はアルプス地方にして、ヨーロッパ第一の大河ダニューブDanubiusはこゝに發源し、又此の地方は湖水甚だ多し、一はロシアの中部にして、ヨーロッパ第一の長流ヴォルガVolgaはこゝに發源し、又其の北西に當れる部分は湖水甚だ多し。

四六、氣候。

灣流はヨーロッパの近海を流れ、南西の主風は此の上を吹き來るが故に、ヨーロッパの氣候は其の緯度に比し、頗ぶる溫和にして、猶ほ北アメリカの西岸に於けるが如し。加ふるに此の南西風を遮ぎる山脈なく、且つ三面海にて圍まるゝを以て、ヨーロッパは東部を除くの外、すべて海洋性氣候を有し、穀物は北部にも生じ、葡萄、橄欖の如きも高緯度にこれを

見る、而して氣温及び雨量は西より東に至るに従て次第に減少す。

四七、人文地理。

住民。ヨーロッパの人口は凡そ四億五千萬にして、人口の密度六大洲中最も大なり、又其の密度最も小なるは北東部、最も大なるはイギリス及びベルギーなり。

人種。白人種を第一とし、Talioラチン、Slavスラツ、Chitonチイトン及びAltaicルトの四大族に分つ、Turkicトルコ種これに次ぐ。

宗教。ヨーロッパは概ね基督教國なり、基督教の主なる三大派を舊教、新教及び希臘教とす。概するに舊教はラチン人種中に行はれ、新教はチイトン人種中に行はれ、又希臘教は主としてスラツ人種の間に行はれ、回教はトルコ人種中

に行はる。

産業。ヨーロッパの平原地方は農産盛大にして、特に南部には葡萄の産出多し。山地は森林に富みドイツ特に然り。鐵産は頗る富裕にして、鐵及び石炭を主とし、イギリス、ドイツ之が最たり、其他ウラル山地は貴金屬に、カーバシアン山脈は岩鹽に富む。

區劃。ヨーロッパは地味肥沃、氣候溫和、諸種の産業に富み、且つ世界交通の好位置に位するが故に、其の邦國は概ね富強にして、我が條約國も、其の數十^上の多きに及べり。

今ヨーロッパに於ける重なる獨立國の名を左に掲ぐ。

- 一、ロシア
- 二、トルコ

三、ドイツ

四、オーストリア・ハンガリー

以上帝國

- 五、イギリス
- 六、スペイン
- 七、ポルチガル
- 八、イタリー
- 九、ギリシア
- 十、セルヅ、ア、
- 十一、ルーマニア
- 十二、スウェーデン・ノルウイ
- 十三、デンマルク

十四、オランダ

十五、ベルギー

以上王國

十六、フランス

十七、スウィツル

以上民主國

此の外尙ほ數個の小獨立國あり。以上の中トルコセル
ツ、ブルーマニアの三國を除き、他は皆我が條約國なり。

第二節 ロシア

Russia

四八、地文地理。

位置、境界及び面積。ロシアはヨーロッパの東部に位せる
大國にして、北は北氷洋に、南は黒海に濱し、東はウラル山脈
及びウラル河を以てアジアに接す。但し精密に云はゞ、行政
區劃上、アジアとの境はウラル山脈及びウラル河と少しく
一致せざることを知るべし。

面積凡そ三十五萬方里ありて、ヨーロッパの大部を占め、我
が國の十~~五~~倍あり。

地勢。ロシア全土は一大平原より成り、稍高き丘地、國の
中央を走る、これを中央分水界とす、其の最高點に於ても、其

ロシアの交通はもと主として河に依りしものにて此の國に於ては河川の力多きに居る

の高度海面上僅かに一千餘尺に過ぎず。これより北は低濕の平地にして、湖沼頗ぶる多く、其の最北部は凍土帯にして、蘚苔及び灌木を生ずるのみ、中央高地の南も亦た一帯の低地にして、裏海沿岸は地中海の海面以下に位す。山脈と稱すべきものは、彼のウラル山脈あるのみなれども、其の山勢急峻ならずして、其の峠の如きは、山として見るべからず。沿岸。三面海及び大湖に接し、海岸線出入あれども、大部は氣候峻酷にして、河海多くは冬季氷結するの缺點あり。水系。ロシアは河川に富み、河川と運河とに依りて、裏海或は黒海より、バルチク海に至り得べし。今其の注入する海に就て、重なる河を列擧すれば、北氷洋の斜面區域にドゥナ、黒海の斜面區域に、ヅニール、ド

Duna

Dnieper

ン、裏海の斜面區域に、ヅルガ及びウラルあり。而してこれ等諸大河の水源地は中央分水界にあり。

ロシア河流の左岸は常に洪水の憂を受け、隨て都邑は大抵右岸にあること此の國の特色なり。

中央分水界の北西に湖水地方ありて、ラドガ・オネガの二湖最も大なり。

Ladoga

Onega

氣候。多くは大陸性氣候にして、雨量頗ぶる少なし。河水は冬季氷結し、海岸亦凍結し、交通を杜絶す、蓋し全國一面の平原にして、北方の寒風自在に通過するによる、加ふるにヨーロッパの西半部に異りて、温暖なる灣流と大西洋よりの海風との影響を受けざればなり。

四九、人文地理

人口は一億餘、ヨーロッパ總人口の凡そ四分の一を占め、スラヴ種の一支部、ロシア種を主なるものとす、希臘教は國教にして、皇帝は政治上のみならず、又宗教上の首長たり、舊教徒も亦た多し、大學の數八あり、初等教育は未だ普及せず。

此の國の政體は君主專制なり、これヨーロッパ中トルコを除き、他に見ざる所なり。中央政府には四の政治機關あり、參事院、元老院、（イデオロギイ）宗務院及び内閣これにして、宗務院の權限頗ぶる大なり、此の國は本邦條約國の中最も重なるもの一なり。

軍備は、平時百十萬、戰時四百六十萬の陸軍兵あり、陸軍兵の多きことは世界第一にして、海軍は世界第三位に居り、最も強盛なるバルチック艦隊は、（バルチック）クロンスタトを根據地とす、此

の港は冬季氷結するが故に、リバツの不凍港を以てこれに充て、其の經營已に成れり、又義勇艦隊ありて、平時はオデッサ及び東洋諸港間の通商に従事す。

國勢甚だ盛んにしてヨーロッパ六強國の一に居る、其の領地はアジアの北部及び西部に亘り、又旅順口及び大連灣を取り、滿洲をも借領し、我が國に對して最も重要なる關係を有せり。

全國荒地少からず、然れども南部には黒土と稱する地質あり、地味豊饒にして、數十年間肥料を要せず、此の國の穀物に富めるは全くこれによる。牧畜盛んにして、名馬を産し、鑛産も亦た多く、ウシルの金及び白金は世に名高し。

内國商業上、年市は此の國の特色にして、ニジニノツコロ、（Nizhny Novgorod）

ドは其の中心なり。外國貿易も次第に盛大にして、輸出品は穀物を第一とし、亞麻及び材木これに次ぎ、輸入品は器械を第一とし、綿花及び金屬器これに次ぐ、而して酒精及び酒、精飲料は政府の專賣する所なり。

河川は運河にて連接せられ、裏海、黑海、バルチック海を互に聯絡すれども、冬季河川及び港灣氷結するの不利あり。鐵道は近來特に發達したれども、邦土の大に比すれば、尙ほ不十分なり。唯冬季は一面氷雪を以て掩はれ、橋を通ずるが故に、如何なる僻地もこれによりて、交通自在なり。

五〇、地方誌。

セントペートルスブルグ。帝國の首府にして、フンランド灣頭に位し、全市の地面頗ぶる低し。大船はもと七里の

バルチック海より裏海へ巡洋艦を計通すべし計あり

St. Peterburg

Kianda

沖にあるクロンスタット島に碇泊せしが、近時深さ二十二尺の運河を開き、船舶府内に直達するに至れり。クロンスタット島はバルチック艦隊の根據地にして、堅固なる砲臺あり、以て國都を防禦す。

Kronstadt

此の府はロシア國政治上の中心にして、又第一の貿易港たるを以て、人口凡そ百三十萬、市街繁盛なり、有名なるペートル一世世に大帝と稱す、騎馬の像は儼として街頭に立ち、王宮官衙の宏壯なること、ヨーロッパ中他に其の比類を見ず、又有名なる大圖書館及び我が大使館の設けあり。

運河及び河流の水利により、又四大鐵道一はフンランド灣の兩岸、一はワルソー、一はモスコーに通ずるの中心にして、交通至便の地にあり、然れども冬季は氣候嚴烈にして、海面

河水氷結し、全く交通を絶つ。

リガ。リガは同名の灣頭に位し、セントペートルズブルグ



鐘巨のスコスモ

の南西に當り。此の國第三の貿易港なり、其の西方にリバLithuaの不凍港あり。モスコイMoscow國の中央に位し、

叩くも鳴らざる鐘打つも發せざる砲

此の國の舊都にして、ロシア固有の風を存し、皇帝の戴冠式は此の地に於て行はるゝを法とす、有名なる大鐘及び巨砲

あり、共に破損して用をなさず。此の國商工業の一大中心にして、人口凡そ百萬あり。

ニジニノツゴロッド。モスコイの東に當り、七月より九月に

至るの間大市を開き、殊にドイツ及び清國より商賈群集し、其の貿易額殆んど二億圓に達す。

オデッサ。此の國第二の貿易港にして、黒海艦隊の根據地なり、又義勇艦隊はウラジナストク、旅順口及び本港の間を往

復す、又支那の茶は近來本港より入るもの少からず、オデッサの南東に突出するクリミア半島にセバストポールの砲臺あり。

Sebastopol

Sebastopol

主要統計比較表 (一九〇一年政軍年總ニシテ、凡ソ六方哩ハ
一方哩ニシテ六十四、一志六五拾錢ニ當ル)

事	項	備	考	ロ	シ	ア	日	本
面	積	單	位	方	哩	二、〇九五、六〇〇	(蘇 聯)	一四七、六五〇
人	口	一	方	哩	一六〇、一五四、六一〇	五〇・七	四三、七六〇、八〇〇	二九六・四
人	口ノ	單	位	方	哩	一八五、二五二、五〇六	一磅一四志	二四、六九五、三一〇
歳	入	單	位	磅	一八八、六九五、一〇〇	一磅一五志	二四、六四五、二〇〇	一一志
歳	出	單	位	磅	六三二、五〇九、六〇〇	五磅一七志	五〇、二九六、七〇〇	一磅三志
同	國	單	位	磅	六四、二七七、八〇〇	一一志	三三、〇四〇、二〇〇	一一志
同	債	單	位	磅	六二、六四七、五〇〇	一一志	二二、四九二、九九〇	九志
同	入	單	位	磅				
同	出	單	位	磅				
同	人	單	位	磅				
同	割							

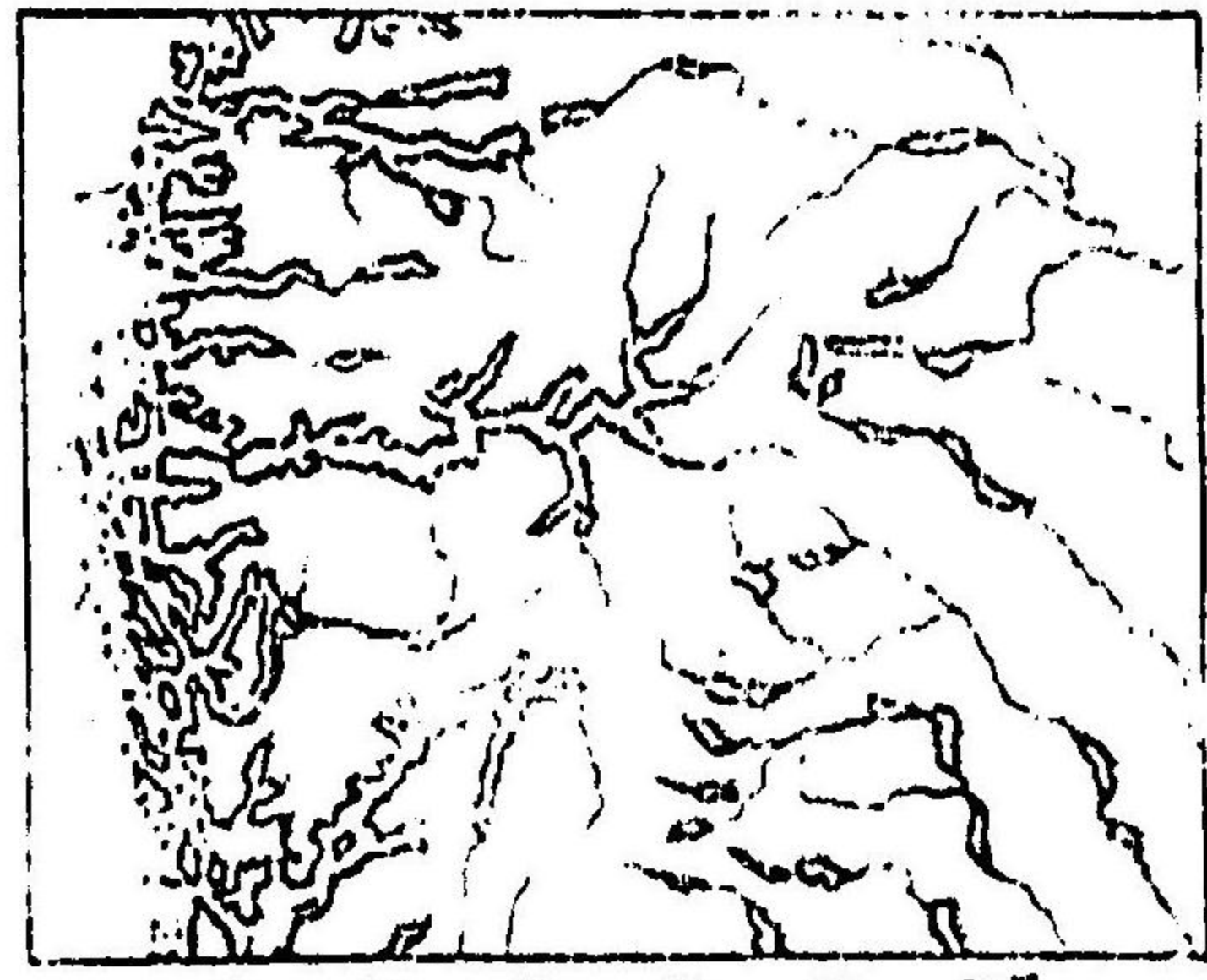
第三節 北部ヨーロッパ

五一、スウェーデン・ノルウェイ

ロシアの北西に當り、スカンデナヴィア半島の全部を成す、
南は海峽を隔て、デンマルクに對し、西は大西洋及び北氷
洋に臨む、面積凡そ五萬方里、ノルウェイ及びスウェーデンの二
國に分る。

地文地理。地勢は一面高原性を呈し、其の分水界は中央
より少しく西に偏す、分水界の以東はスウェーデンにして、バル
チック海に向て地勢緩斜し、以西はノルウェイにして平原なし。

東流する河は多く湖水を通過し、恰も湖水と湖水とを瀑布にて連ねたる觀を呈す。



ノルウイの峽灣

ノルウイ西岸は狹隘なる入海あり、其の兩岸絶壁にして、海底甚だ深し、これを峽灣と稱す、又無數の群島前に羅列し、以て大西洋の荒波を拒ぐ。

西部の海岸は、灣流の影響を受け、氣候溫暖にして、最北の港所なり、これに反して東部は、冬季氷結す。

人文地理。人口凡そ七百萬、大抵チ、ト種にして、新教

を奉ず、教育は普及せり。

半島の東側はスウイデン、西側はノルウイにして、外に對しては兩國合して一王國をなせども、内政は全く分離し、各行政部、立法部及び陸海軍を有す。國王は此の國より、彼の國へ共同演習の爲めに兵を送るに、三千人を超ゆるを得ず、且つ一年間六週日以内を限りとす。

スウイデンは、農産及び鐵に富み、林産は兩國共に富裕にして、特に材木運搬用及び漁業用の爲め、ノルウイ商船の數は甚だ多し。ノルウイの水産は極めて盛大なるを以て、我が國の如き海國にありては、これに模範を取るべき所少からず。

地方誌。ストックホルムはスウイデンの首府なり、バルチ、

Stockholm

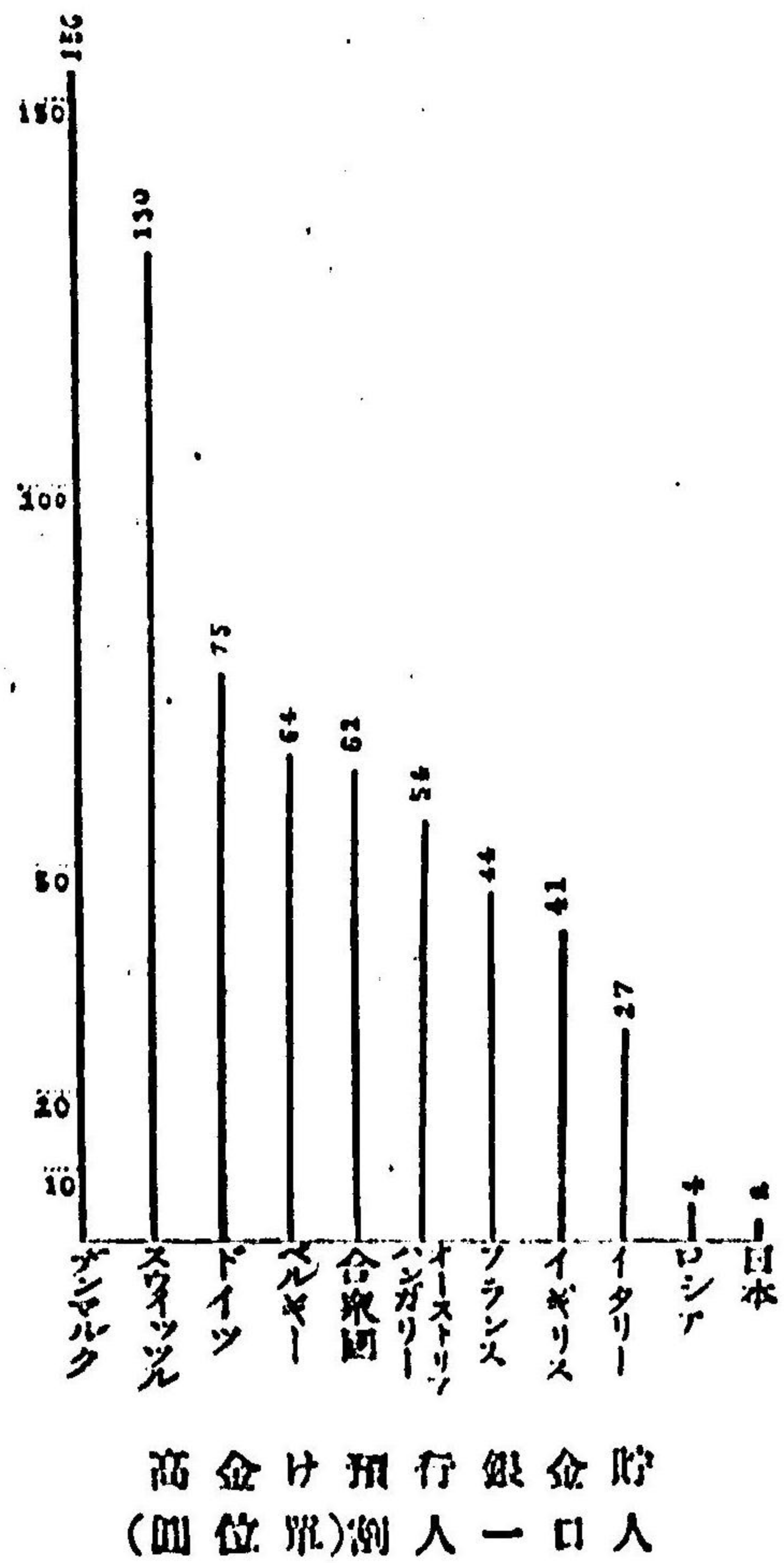
Composition
コンポジション

商船の噸數
世界第四

五二、デンマルク Denmark

ドイツの北方に突出する半島及び附近の島嶼より成る、北及び東は、スカンデナヴィアに對し、西は北海に面す、面積凡そ我が九州に等し。

地勢は概するに低平にして、沿岸は往々海面以下に位す



西印度諸島の領地は、これに北アメリカを合衆國に賣り渡すの約已に成す

海流の影響

る所あり、氣候溫和なれども、霧深くして濕潤なり。

人口凡そ二百萬、チヤートン種に屬し、新教を奉じ、教育は普及す、立憲王國にして、本邦條約國の一なり、首府をコーペンハーゲンと云ふ。

Copenhagen

國人貯蓄の風に富み、人口一人に對する貯蓄銀行の預け金高は、此の國人を以て第一とす、又我が對馬及び韓國間の海底電線は此の國人の有に係る。

此の國の主要なる殖民地は、ヨーロッパ本陸の北西に當れる氷洲にして、面積は本國の二倍より大なり。此の島は火山及び間歇泉に富み、寒帯に近けれども、氣温割合に高し。又流木多くして、住民薪炭の材料となる。

主要統計比較表 (一九〇二年政家年報ニヨリ、凡ソ六方哩ハ除ク、一磅六十四、一志ハ五拾錢ニ當ル)

事項	備考	ゲンマルク	日本
面積	單位方哩	一四、八〇〇	(前掲) 一四七、六五〇
人口	口	二、四四七、四四一	四三、七六〇、八〇〇
人口ノ密度	一方哩	一六五・三	二九六・四
歳入總額	單位磅	三、九九〇、九〇〇	二四、六九五、三一〇
同人口割		一磅一一志	一一志
歳出總額	單位磅	四、二六三、〇〇〇	二四、六四五、二〇〇
同人口割		一磅一四志	一一志
國債總額	單位磅	一一、四〇八、一〇〇	五〇、二九六、七〇〇
同人口割		四磅一四志	一磅三志
輸入總額	單位磅	二七、〇六四、四〇〇	三三、〇四〇、二〇〇
同人口割		一一磅一志	一〇志
輸出總額	單位磅	二〇、〇四八、七〇〇	二二、四九二、九九〇
同人口割		八磅三志	九志

第四節 中部ヨーロッパ

五三、ドイツ。

Germany (Deutschland)

此の國はヨーロッパの畧ほ中央に位し、面積凡そ三萬五千方里あり。

國の中央以南は高地に屬し、森林多く、北部は一面低平なる北ドイツ平原なり。沿岸は出入に乏しく、又北海の海岸は頗ぶる低し。バルチック海の海岸は大なる砂嘴多く、これをチールングと稱し、其中に溼湖を抱く、これをハフと稱す。Danube (Donau) 河は源を國の西南部に發し、オーストリアに入る、

面積本邦より稍大なり

此の河はヨーロッパ第一の大河なり。

ライン河は、ドイツ第一の大河なり、源をスウツルに於け
Rhine(Rhein)

るアルプス山系の氷河中に發し、北流して、國の西部を流れ、遂に西流して、オランダに入る、舟運の利大にして、又運河を以て、他の諸大河に連る、河畔の風景も亦た其の名世に高し。

其の他ウーゼル、エルベ、オーデルの三河何づれも有名なり。
Weser Elbe Oder

バルチック海沿岸の氣候は、稍寒冷なれども、北海地方は溫暖にして、又ライン河畔の地方は、最も溫和なり、然れども南部高地は、寒暑共に甚し。

人口凡そ五千六百萬、外國特に、合衆國に移住するもの甚だ多し。教育は最も進歩し、大學の數二十一に達し、高等教

育及び實業教育は世界の模範と稱せらる、近時我が國人の留學するもの甚だ多し。

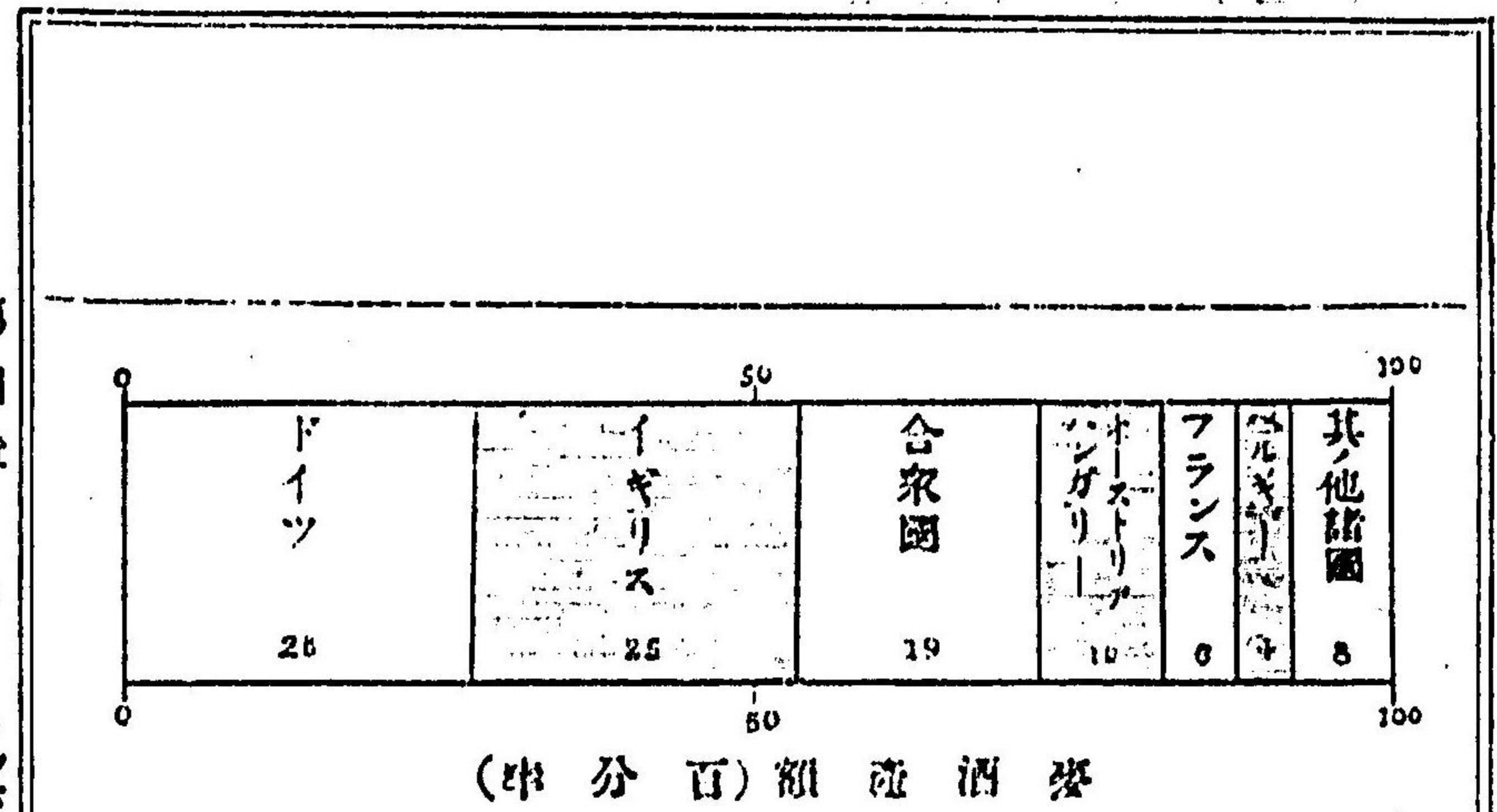
ドイツ帝國は王國四、大公國六、公國五、侯國七、自由市三、帝國領一の聯邦より成り、ドイツ皇帝はロシア國王これに當る。皇帝は外國に對してドイツ帝國を代表し、宣戰講和の權を有す、然れども戰の性質防禦的に非ずして、進攻的なるときは、必ず聯邦議會の協賛を要す。此の國は我が條約國の中重もなるもの一なり。

陸軍は常備兵六十九萬、最も精銳なりと稱す、而して其の兵數の多きことはロシアに次ぎ、戰時三百萬の兵を擧げ得べし、海軍は近來長足の進歩をなし、世界第四位に居り、且つ近時大に擴張中なり。

麥酒及び砂糖の産額は世界の四分の一

農産は北ドイツ平原に多く、林産は中部及び南部に多し、特に此の國の森林制度は最も進歩せり。鑛産はイギリス及び北アメリカ合衆國に次で最も多く、特に鐵及び石炭に富む。實業教育の制度完全なるがため、工業非常に進歩せり、就中製鐵、製糖及び織物業最も盛にして、又麥酒は世界第一の名あり。

外國貿易は近來長足の進歩をなし、世界第二に居り、主として、イギリス、ロシア、オーストリア、北アメリカ合衆國の四國と取引をなし、ハンブルヒ及びブレーメンは商業上の二大中心なり、本邦との貿易も頗る盛大なり。我が國へ此の國より鐵、毛織物、砂糖、藥品等を盛んに輸入し、我が國はドイツより買ふことドイツに賣るより遙に多し。



ドイツ	179	オーストリア	112	フランス	57	ロシア	90	ベルギー	30	其他諸國	52
シベリア	72	キエフ	40	ハワイ	28	合衆國	18	アチル	18	其他諸國	107

砂糖産額(噸位萬噸)上下段甘蔗糖

河川、運河、鐵道によりて交通至便なり、キール、大運河は北海とバルチック海とを通ず。此の國はアフリカ、オセアニア等に於て本國に五倍するの領地を有し、清國の膠州灣も亦た其の借領する所なり。

地方誌 *ベルリン* *Berlin*

は、此の國の首府にし

て、又プロシヤ王國の首府なり、北部平原中に位し、人口百九十萬、商工業の一大中心にして、又有名なるベルリン大學あり、我が公使館は此の地に置かる。

エルベ河流域の右岸に、ハンブルヒあり、ドイツ第一の貿易港にして、又世界有数の要港なり、人口凡そ七十萬あり。

ドレスデン。サクソニー王國の首府にして、エルベ河上流の右岸にあり、其の北西ライプツィヒに有名なる大學あり、又書籍の出版最も盛んなり。

ブレーメンは、ウエーゼル河口に近く、ドイツ第二の貿易港なり。

ケルンは、ライン河の左岸に位し、商業の中心として好位置を占む、其の北方エッセンに有名なるクルップの鐵工所あり、

ストラスブルヒは、ライン河上流の左岸を距ること一里弱の所にあり、エルザース、ロートリンゲンの首府にして、フランス・スウイッセルに接近し、古來より外交及び商業上頗る緊要なる所なり。

ドレスラウ。ドレスラウは國の南東部にあり、オーデル河の上流に位し、近傍石炭に富み、工業上の一大中心なり。

右の外南部バツリア王國の首府ミンヘンあり、麥酒の產地として名高く、又大學及び國立圖書館も規模大なり。

主要統計比較表 (一九〇二年政黨年報ニ於テハ凡ソ六方哩ハ二
方哩、一磅ハ十四、一志ハ五拾段ニ當ル)

事項	備考	ドイツ	日本
面積	單位方哩	二〇八、八三〇	(除ク) 一四七、六五〇
人口ノ密度	一方哩	五六、三四五、〇一四	四三、七六〇、八〇〇
人口ノ總額	單位	二六九、八	二九六、四
輸入總額	單位	九二、八三八、八五〇	二四、六九五、三一〇
輸出總額	單位	一磅一二志	一一志
輸出總額	單位	九二、七八五、四〇〇	二四、六四五、二〇〇
國債總額	單位	一一七、一四七、五三〇	五〇、二九六、七〇〇
輸入總額	單位	二磅一志	一磅三志
輸出總額	單位	二八九、一八一、四〇〇	三三、〇四〇、二〇〇
輸入總額	單位	五磅二志	一〇志
輸出總額	單位	二二八、四二〇、四五〇	二二、四九二、九九〇
人口割	單位	三磅一六志	九志

五四、オーストリア・ハンガリー。

地文地理。オーストリア・ハンガリーは、バルカン半島の北西

に當る、面積凡そ四萬方里あり。

アルプス山系の東部は、國の西部に綿亘し、其の脈延て、カ

ーパシアン山脈となり、以て國の東部に連亘し、其の西方に

ハンガリーの大平原をなす、又アルプス山系より支脈を出

して、國の南西に連り、アドリアチック海の岸に沿ひて走り、其

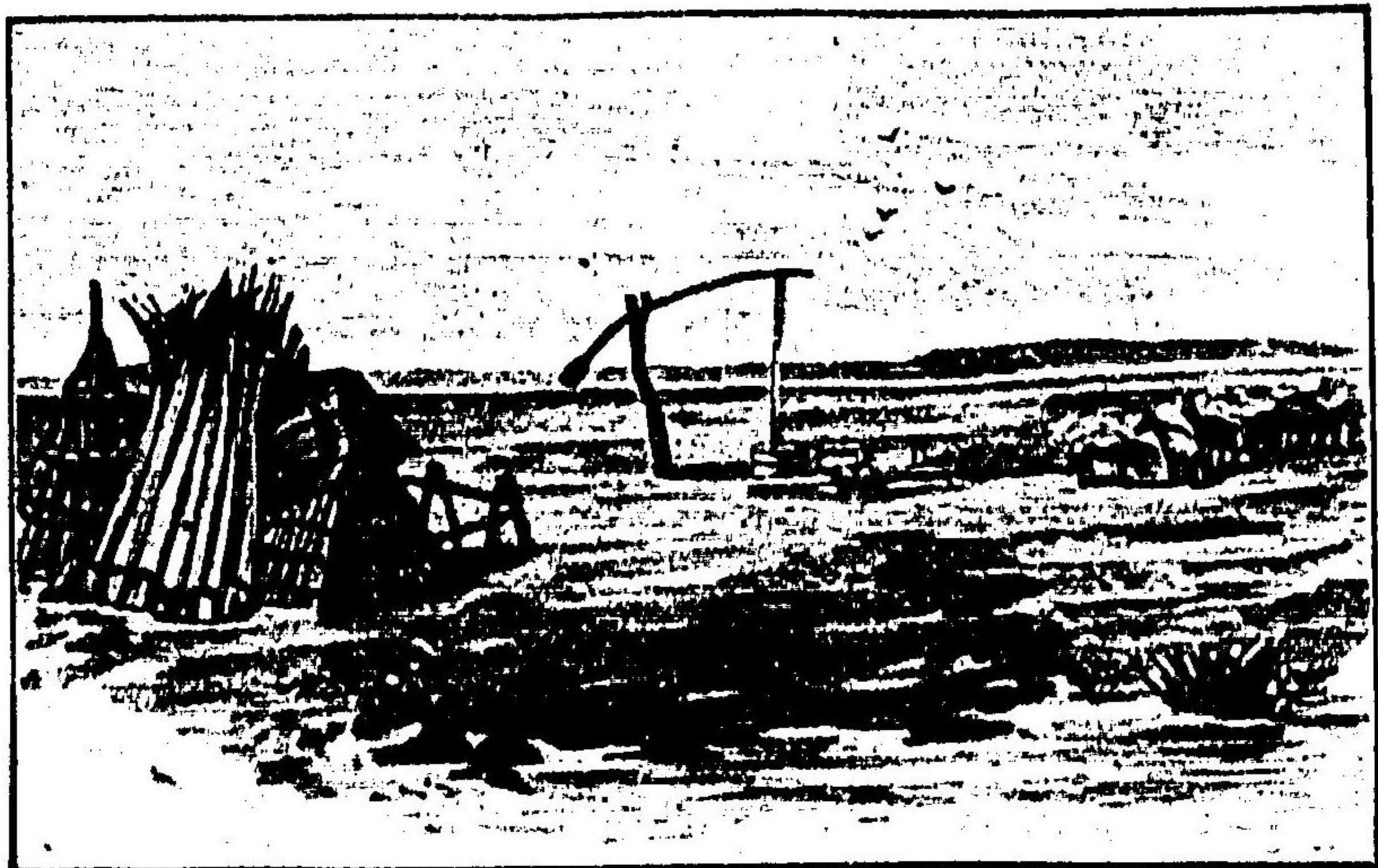
の一部にカルスト地方あり、此の國の海岸線は甚だ短し。

ハンガリーの大平原は、これをプスタと稱し、牧畜用の釣

瓶、到る所に、これを見る、カルスト地方の地質は石灰岩多く、
岩窟に富み、地下の河湖甚だ多し。

ダニール河は、ドイツより來り、東流してハンガリーの

ハンガリー
は人種及び
風習を東洋
の分子を存
す



景のタスゾ

1ダベストの北に於て南に轉じ、東流し、ルーマニアの東部を過ぎて、遂に黒海に注ぐ、全長七百餘里、水運の便至大なり。ルーマニアとの境に鐵門と稱する急流部ありて、交通の害をなせしも、今は運河を開通してこれを避く。

氣候。氣候は三様に分る、(一)葡萄の生ぜざる北方の氣候、(二)葡萄及び小麥に

適するハンガリー平原の氣候、(三)溫暖なるアドリアチック海沿岸の氣候これなり。

人文地理。人口凡そ四千四百萬、人種一ならず、ドイツ種及びマギアル種最も多し、言語も亦た其の種類多く、統治上の困難^{Magyar}少からず。教育は進歩し、十一ヶ所に大學あり。

オーストリア・ハンガリーはオーストリア帝國とハンガリー王國とより成り、陸海軍及び外務の外、内政は全く別にして、各別に議會及び行政部を有し、オーストリア帝は同時にハンガリーの王たり、陸軍は平時三十六萬、戰時百八十七萬の兵を有す、此の國は我が條約國の一なり。

農業甚だ盛大にして、全面積の主要部分は耕作地なり、畜産は産業中第一位を占む、又鑛産に富み、金、岩鹽等の産出多

生産地と海
港との間に
山脈あり大
河の口は他
國にあり

く、北部の岩鹽層は厚さ四千尺に達するものありて、坑内に
入れれば恰も水晶宮裡にあるが如し。他の強國に比して、此
の國の外國貿易稍振はざるは、海に對する此の國の位置甚
だ不利なるによる。

地方誌。ヴ、エンナはダニュープ河ニ沿ひ、此の國の首府に

Vienna

して、人口凡そ百四十萬其の醫科大學は有名なり、我が公使

館は此の地に置かる、ツリエストはアドリアチック海に沿ひ、

Trieste

Adriatic

此の國第一の貿易港なり、ブーダペストはハンガリーの首

Budapest

府にして、ダニュープ河に跨り、ブーダ及びペストの二部より

Buda

Pest

成る。

リエヒテンシュタイン、オーストリアの西に當る小侯

Liechtenstein

國にして、表面上獨立なり、人民は直接税及び兵役の義務を

負はず、又此の國には國債なし、面積凡そ十一方里、人口凡そ
九千四百人、人種はドイツに同じく大抵舊教を奉じ、概ね農
業を事とす。

主要統計比較表 (一九〇二年政黨年報ニヨルルソ六方哩ハ一
方哩ハ一〇七、三〇四、一七、四六三、八〇〇、二七、九〇二、七〇〇、
二四、六九五、三二〇、二四、六〇五、二〇〇、五〇、二九六、七〇〇、
二二、四九二、九九〇、二二、〇四〇、二〇〇、一一、〇志、九志)

事項	備考	オーストリア	ハンカリー	日本
面積	單位方哩	一一五、八〇〇	一一五、〇〇〇	(蘇聯ナ) 一四七、六五〇
人口	口	二六、一〇七、三〇四	一七、四六三、八〇〇	四三、七六〇、八〇〇
人口ノ密度	一方哩	二二五・四	一四〇・〇	二九六・四
歳入總額	單位磅	六六、七九六、七〇〇	四二、九〇二、七〇〇	二四、六九五、三二〇
同 人口割		二磅一一志	二磅九志	一一志
歳出總額	單位磅	六七、四四四、五〇〇	四二、七九七、三〇〇	二四、六〇五、二〇〇
同 人口割		二磅一一志	二磅九志	一一志
國債總額	單位磅	一一三、八一〇、七〇〇	二〇六、二六八、七〇〇	五〇、二九六、七〇〇
同 人口割		五磅一志	一一磅一六志	一磅三志
輸入總額	單位磅	六七、〇三三、〇〇〇	一一、〇〇〇	二二、〇四〇、二〇〇
同 人口割		一磅一〇志		一〇志
輸出總額	單位磅	七七、五五六、〇〇〇		二二、四九二、九九〇
同 人口割		一磅一五志		九志

五五、スウヰツル
Switzerland

地文地理。ヨーロッパ大陸の中央に介在する半圓形の小國にして、四大國の間に介在し、面積我が九州に殆んど相等し。

其の地域アルプス山系の一部を占め、ヨーロッパ中の最高地にして、諸大河の水源地をなし、高山は氷河を有し、國中到處、風景最も美なり。

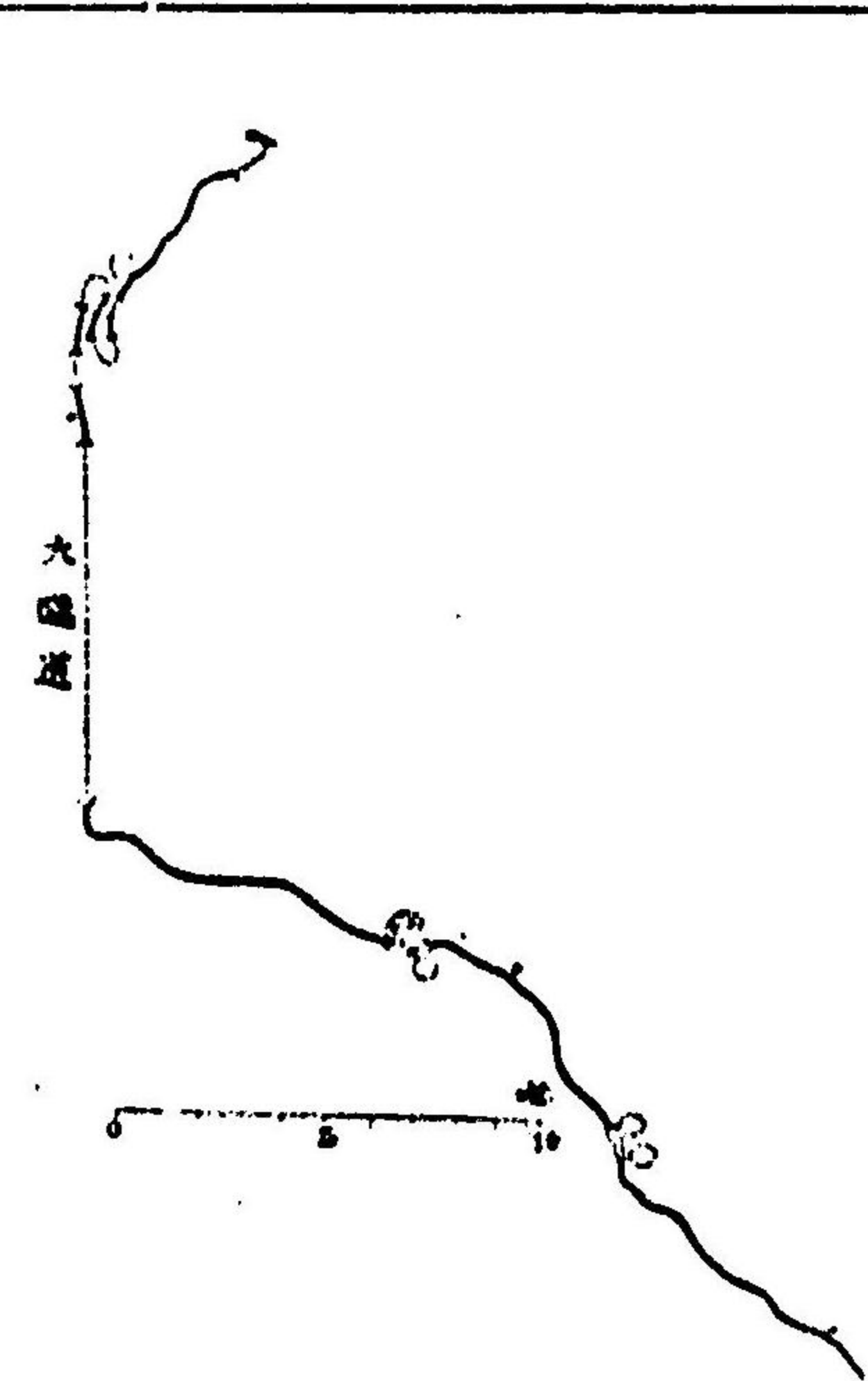
ライン河は、水源を國の南部に發し、北流して遂にドイツに入る、ローヌ河の源は、ラインの水源地に接し、西流して、ジネヴ湖に入り、遂にフランスに入る。

湖水頗ぶる多く、ジネヴ湖最も名あり。
人文地理。人口凡そ三百萬、人民概ね新教を奉ず、教育は

ヨーロッパの公認と稱せられ、外人の來遊者甚だ多し

完全にして大學の數五あり、國民の三分の二はドイツ語を用ひ、フランス語これに次ぐ、國民は自由を好み、勤儉なり。

此の國の政體は聯邦民主政體にして、大統領は行政部長たり、又此の國は我が條約國の一にして、首府はベルンなり。此國の諸強國間に介在して、能く獨立の體面を持するは、地勢の利も亦た與て力あれども、主として、人民尙武の氣象盛んなるによる。



道隧大トイタゴトツセ

此の國は土地高峻にして、生産的の部分多く、農産甚だ少し。水力及び汽力の利用により、

工業盛大にして、就中時計は最も名あり、外國貿易は人口に比し甚だ盛大にして、我が國は年々巨多の時計を此の國より買ふ。

山脈四方を圍めども、鐵道によりて交通至便なり、特にイタリーとの間にはセントゴータードの大隧道あり、其の長さ九哩四分の一あり、而して其の前後には所々に螺旋状の小隧道ありて、勾配を緩かにす、シンプロン峠を貫通する隧道は近時工事中にして、其の全長十二哩あり。

主要統計比較表 (一九〇二年政家年報ニヨリ凡ソ六方哩ハ
一方哩ニ等ハ十四ニ志ハ五拾陸ニ當ル)

事項	備考	スウェーデン	日本
面積	單位方哩	一五、九五七	(滿洲ヲ) 一四七、六五〇
人口	口	三、三二二、五五一	四三、七六〇、八〇〇
人口ノ密度	一方哩	二〇七・六	二九六・四
歳入總額	單位磅	四、〇四一、三五〇	二四、六九五、三一〇
同人口割	單位磅	一磅四志	一一志
歳出總額	單位磅	四、一一〇、三〇〇	二四、六四五、二〇〇
同人口割	單位磅	一磅四志	一一志
國債總額	單位磅	三、六〇一、六〇〇	五〇、二九六、七〇〇
同人口割	單位磅	一磅一志	一磅三志
輸入總額	單位磅	五一、四六五、六六〇	二二、〇四〇、二〇〇
同人口割	單位磅	一五磅一〇志	一〇志
輸出總額	單位磅	三四、六二六、七〇〇	二二、四九二、九九〇
同人口割	單位磅	一〇磅九志	九志

治水事業は
頗ぶる進歩
せり

五六、オランダ。

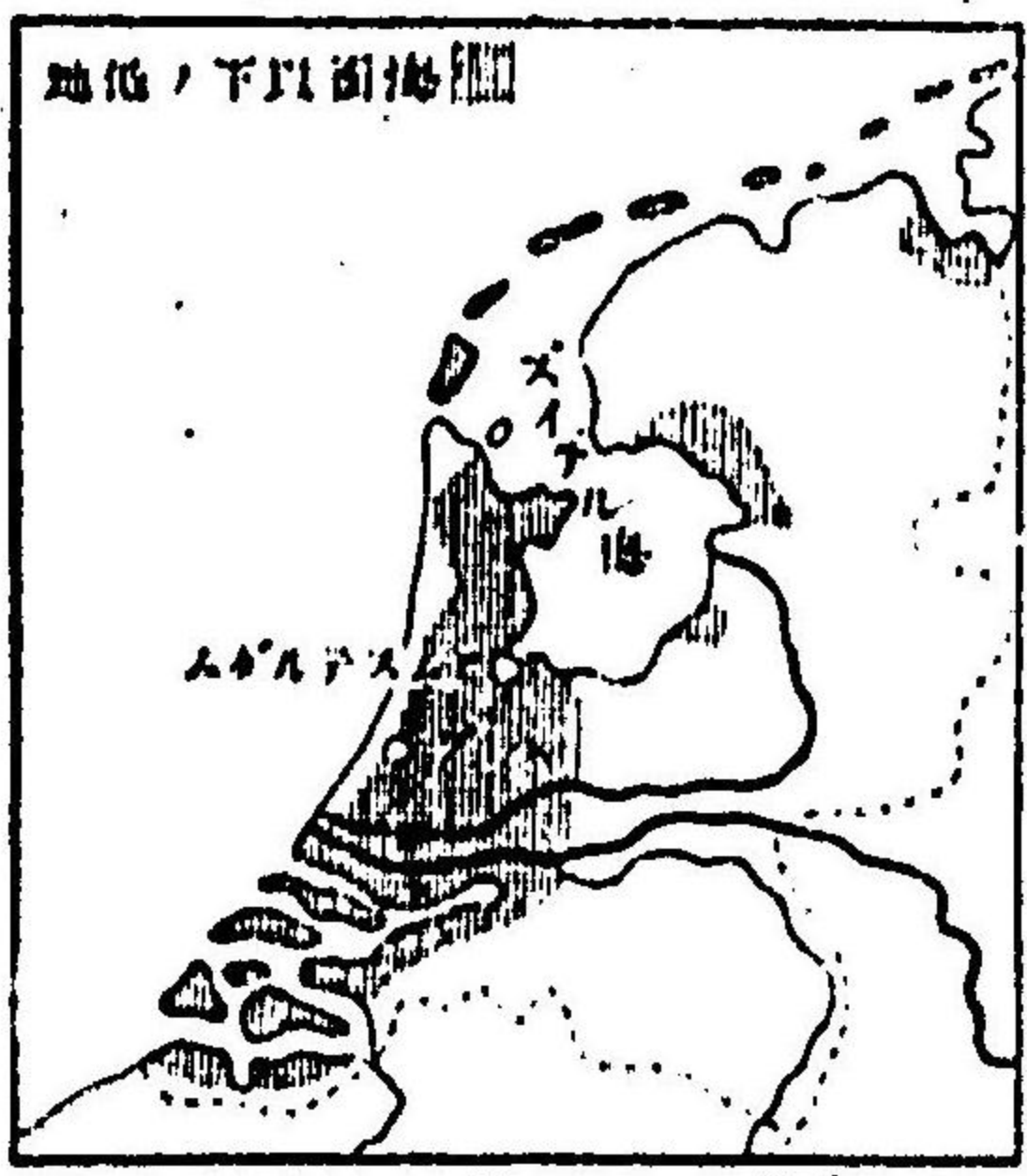
Netherlands

地文地理。低平なる小國にして、東はドイツ南はベルギ
に接し、面積我が九州より小なり。

ライン河の三角洲これが西部を占め、地勢低平、海面より
低き部分少からず、故に堤防を嚴にして海水の侵入を拒ぐ、
北方に入り込めるズイナル海は、昔時海水の侵入によりて、
Zuidzee

陸地の變成せしものなり、故に國人は其の沿岸を排水して、
漸次にこれを恢復す、此の新陸面をポルダーと云ふ。

海風常に吹きて風車の利用すべきと、運河・河川の利大にし
て水路交通の自在なるとは、此の國の特色なり。氣候は概
して溫和にして、殆んどイギリスに同じ、但し國の北東部の
運河は冬季氷結す。



オランダの地勢

人文地理。人口凡そ五百萬、人口の密度はベルギーに次ぐ、チートン種に屬し、宗教は過半新教にして教育は普及し、大學の數四あり、國人自由を愛し、勤儉にして、又舊習故俗を慕ふ。

此の國の政體は立憲王國なり、我が條約國中、舊時より關係深き國にして、徳川氏の世以來、本邦と通商し、維新前西洋の文物を輸入せるは、主として此の國の媒介によれり、然れども本邦との貿易は現今盛大ならず。土地の一半は瘠土砂地にして、牧畜は盛なれども、農産多からず。牛酪、乾酪の産に富めるも工業は振はず。舊時は世界

第一の商業國にして、現今に於ても外國貿易は甚だ盛大なり、特に人口每一人の額は此の國を以て最も多しとす、此の國の位置商業上極めて便利なる位置にあると、マライ群島に於て廣大なる良殖民地を有するとによれり。地方誌。ヘーグは首府にして、我が公使館は此の地に置かる、アムステルダムは此の國第一の都會なり、地盤強固ならざるにより、杭を打ち、其の上に家を建つ。

主要統計比較表 (一九〇二年ノ政黨年報ニヨリ、凡ソ六方哩ハ) (方哩、一磅ハ十四、一志ハ五拾錢ニ當ル)

事項	備考	オランダ	日本
面積	單位方哩	一一、六五〇	(蘇州) 二四七、六五〇
人口	一方哩	五、一〇三、九〇〇	四三、七六〇、八〇〇
人口ノ密度	單位方哩	四〇三	二九六・四
炭入總額	單位磅	一一、三三五、一五〇	二四、六九五、三一〇
同人口割	單位磅	二磅八志	一一志
炭出總額	單位磅	一一、五一六、一七〇	二四、六四五、二〇〇
同人口割	單位磅	二磅九志	一一志
國債總額	單位磅	九六、五六二、六二〇	五〇、二九六、七〇〇
同人口割	單位磅	一八磅一八志	一磅三志
輸入總額	單位磅	一五九、六六六、七〇〇	二二、〇四〇、二〇〇
同人口割	單位磅	三二磅五志	一〇志
輸出總額	單位磅	一一三、九一六、七〇〇	二二、四九二、九九〇
同人口割	單位磅	二五磅一二志	九志

五七、ベルギー。

地文地理。北はオランダ、南はフランス、東はドイツに接す、面積我が九州より小なり。

地勢は南及び東に高く、北及び西に低く、國の北半部はヨーロッパ北部の大平原中に屬す。西方最低の地は海面の下にあり、海岸線の長さは、僅に十七里に過ぎず。

氣候は概してイギリス南部の如きも、稍大陸性を帶ぶ、西部は濃霧多し。

人文地理。人口凡そ六百七十萬、人口の密度、世界第一にして、我が國に二倍す。北部の人民はフレイミング語、南部の人民はフランス語を用ひ、一般に舊教を奉ず、教育は頗ぶる進歩し、大學の數四あり。

ベルギー王
はコンゴ
主なる
獨立國の君

此の國の政體は立憲王國にして、陸軍は常備五萬の兵あれども、海軍の設けなし、此の國は我が條約國の一なり。此の國は地味瘠薄なれども、農業の進歩せること他に比類少し、されば其の人口非常に稠密にして、國土狹小なるにも拘はらず、農産物の剩餘を外國に輸出せり、又鑛物に富み、鐵及び石炭多く、工業甚だ盛んなり、織物及び器械等を重なる製造品とす。貿易は頗ぶる盛んにして、其の大部分はフランスとこれを行ふ。本邦との貿易も盛大にして、我が國へは此の國より鐵、玻璃を輸出す、但し我が國は此の國より殆んど買ふのみにして、此の國へ賣ること少し。

交通は至便にして、鐵道の發達はイギリスに匹敵せり。地方誌。首府をブラッセルと云ふ、我が公使館は此の地に

(Bruxelles)



ベルギーの鐵道

置かる、アントワープは其の繁盛ヨーロッパ大陸第一の港と稱せられ、日本郵船株式會社の航路に當り、我が領事館は此の地に置かる。

リクセンブルグ大公國

(Luxembourg)

はベルギー・ドイツ・フランスの間に介在する小獨立國なり。

主要統計比較表 (一九〇二年政算年總ニシテ凡ソ六方哩ハ一
方哩、一磅ハ十圓、一志ハ五拾圓ニ當ル)

事項	備考	ベルギー	日本
面積	單位方哩	一一、三七〇	(滿洲) 一四七、六五〇
人口	口	六、七四四、五〇〇	四三、七六〇、八〇〇
人口ノ密度	一方哩	五九三	二九六・四
歳入總額	單位磅	一九、九八四、五二〇	二四、六九五、三二〇
同人口割		二磅一九志	一一志
歳出總額	單位磅	二〇、四五五、九二〇	二四、六四五、二〇〇
同人口割		三磅	一一志
國債總額	單位磅	一〇四、二八三、三〇〇	五〇、二九六、七〇〇
同人口割		一五磅九志	一磅三志
輸入總額	單位磅	九〇、四〇八、〇〇〇	三三、〇四〇、二〇〇
同人口割		一三磅九志	一〇志
輸出總額	單位磅	七七、九七二、〇〇〇	二二、四九二、九九〇
同人口割		一二磅一一志	九志

第五節 西部ヨーロッパ

五八、イギリス諸島

British Isles

我が國は東亞の英國と稱せらる

位置及び面積。イギリスはヨーロッパ大陸の西に位し、其の關係恰も我が國がアジア大陸の東に位するに似たり。其の面積我が國より少しく小にして、大ブリタイン及びアイルランドの二大島と、數多の小島とより成る。大ブリタインの面積は凡そ我が本州に等しく、アイルランドの面積は凡そ我が北州に等し。

地文地理。イギリスの地勢は國の區劃に従ひ、大ブリタ

インとアイルランドとの二つに分ちて、これを説くべし。

(甲)大ブリタインの地勢。北方は一般に高くして、平地少く、南方は高地あれども、平原も亦た廣し。沿岸は出入に富み、海岸線非常に長く、良好なる港灣少からず、北部なるスコットランドの西岸には峽灣多し。

(乙)アイルランドの地勢。アイルランドは海を隔て、大ブリタインの西に位し、全島石灰石の平原にして、周圍に高地あり。

河流はすべて長からずと雖も、其の河口開て、三角江をなし、障礙物少なきを以て、皆自ら良港をなす、これ此の國海事の發達を來したる一源因なり、且つ河床の傾斜緩なるを以て、船舶は内地に深く溯り得べし。

大ブリタインは、分水界國の西方に偏在するを以て、東側にのみ稍長き河あり、Thamesテムス河は此の例なり。

スコットランドは、頗ぶる湖沼に富み、Lough皆ロクと云ひ、其の形狭長にして、河流の經路に當り、スカンヂナウアの湖に似たり。

此の國の位置カムチヂカ半島と略ほ同緯度に位すれども、灣流の影響を受け、其の氣候は概ね溫和にして、雨量多し。就中西岸は東岸に比して、雨量特に多し。

人文地理。人口凡そ四千百萬、其の密度は所によりては、一方里につき、一萬人を越ゆる所少からずして、我が國人口の密度より遙かに大なり。

人種はチートン種を第一とす、セルツ種の數も亦た少か

らず、國民多くは新教を奉ず、但しアイルランドには舊教新教共に行はる、初等中等教育はドイツに比して大に劣れり、大學の數は九あれども高等教育未だドイツを凌駕するに至らず。

國人着實保守の氣象に富み、容易に舊慣を捨てず、又古よか海を以て立國の本とし、最も海軍を重んず。

此の國の政體は立憲政體にして、全イギリス帝國は甲、大ブリタイン及びアイルランドの合衆王國、乙、印度、殖民地、保護地、屬地とより成る、故にイギリス國王は又、印度皇帝及び殖民地、保護地、屬地の元首たり、此の國は我が條約國中最も深き關係を有す。

陸軍は常備兵二十三萬あり、戦時は多數の義勇兵を擧げ

得べし、海軍の強盛なることは世界第一に位し、戦艦、巡洋艦、水雷艇等を合して、四百隻を超ゆ。

農産、林産、水産も盛んならざるに非ざれども、工業及び商業に比しては實に微々たるものなり、而して人口稠密にして、農産これに伴はざれば其の食物の供給を他國に仰げらば、自然の勢なり。

此の國の工業は、其の盛大なること、他に比類少し、特に造船の業甚だ盛大にして、巨大なる私立造船所の數頗ぶる多し、我が朝日、敷島、富士、八島等の諸甲鐵戰艦は皆此の國の製造に係る。

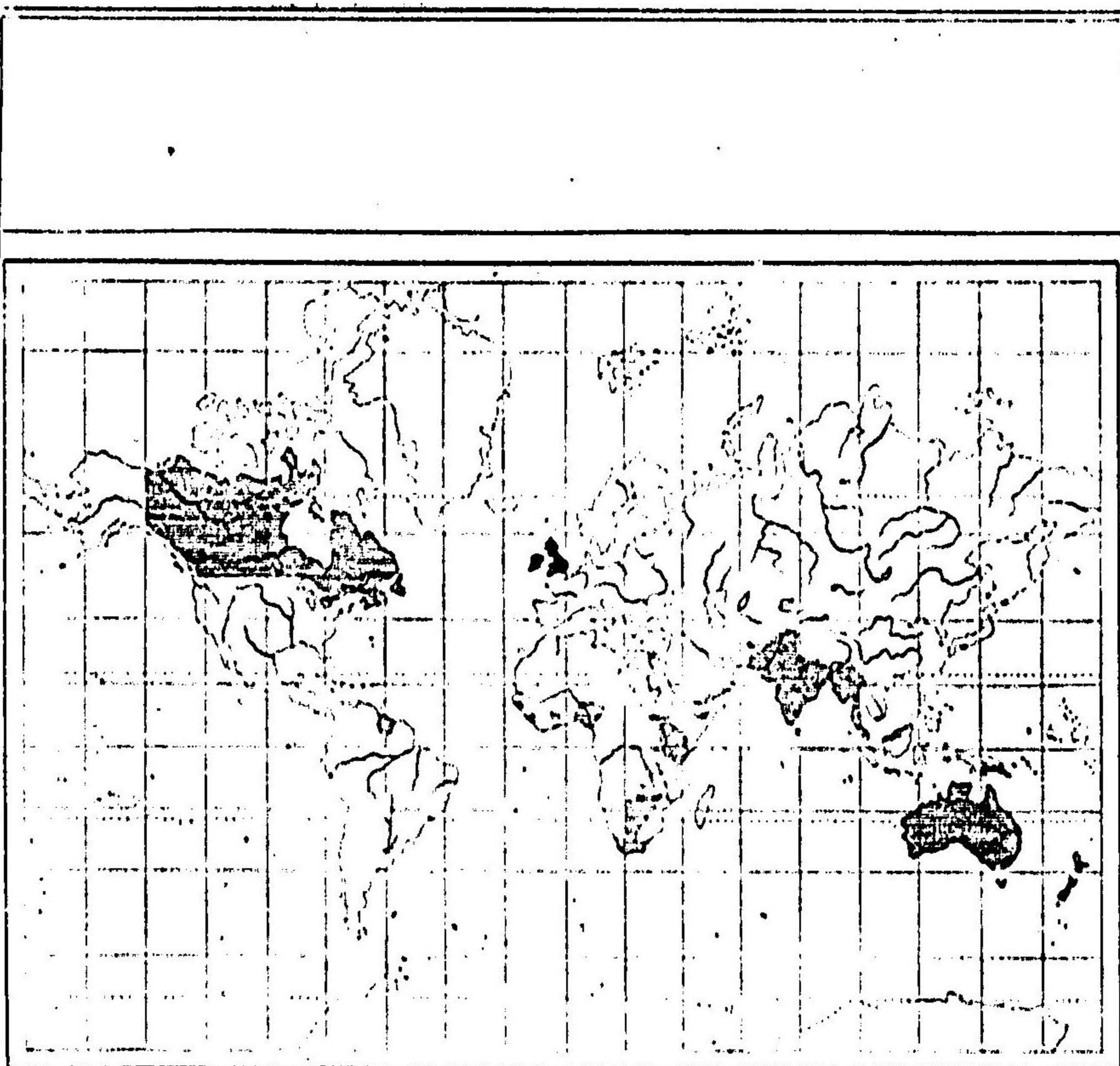
此の國は鑛産に富裕にして、鐵及び石炭の産額は北アメリカ合衆國と相並び、地球上他に比なく、織物の業も盛大に

して、綿絲紡績業は世界鍾數の殆んど半ばを占む。
 此の國は商業國として世界第一位を占め、輸出入額は一
 ケ年凡そ八十億圓を超ゆ自由貿易制にして、酒類、煙草等を
 除き、輸出入税を課せず、主要なる輸出品は綿布、毛布、鐵機械
 及び石炭にして、我が國へも盛んに輸出し、(石炭を除く)本邦
 貿易上第一の輸入國



道鐵のブリタニヤ

たり。
 此の國の交通は至
 便なり、港灣は世界各
 國交通の中心となる
 もの少からず、海運業
 は、最も發達し、此の國



地領のブリタニヤ

の船にて、内外國の航
 通に従事せる商船の
 噸數凡そ九百萬噸、海
 員の數二十四萬人を
 超え、商船の噸數は世
 界の半ばを占め、地球
 上、到る所の港に、イ
 リスの國旗を翻せる
 船舶を見ざることを
 多く、我が國の貿易も主
 としてイギリス船に
 よりて行はる。

明治三十二年十月三日
西曆一千九百零三年
十一月三十日
十一月三十日
十一月三十日

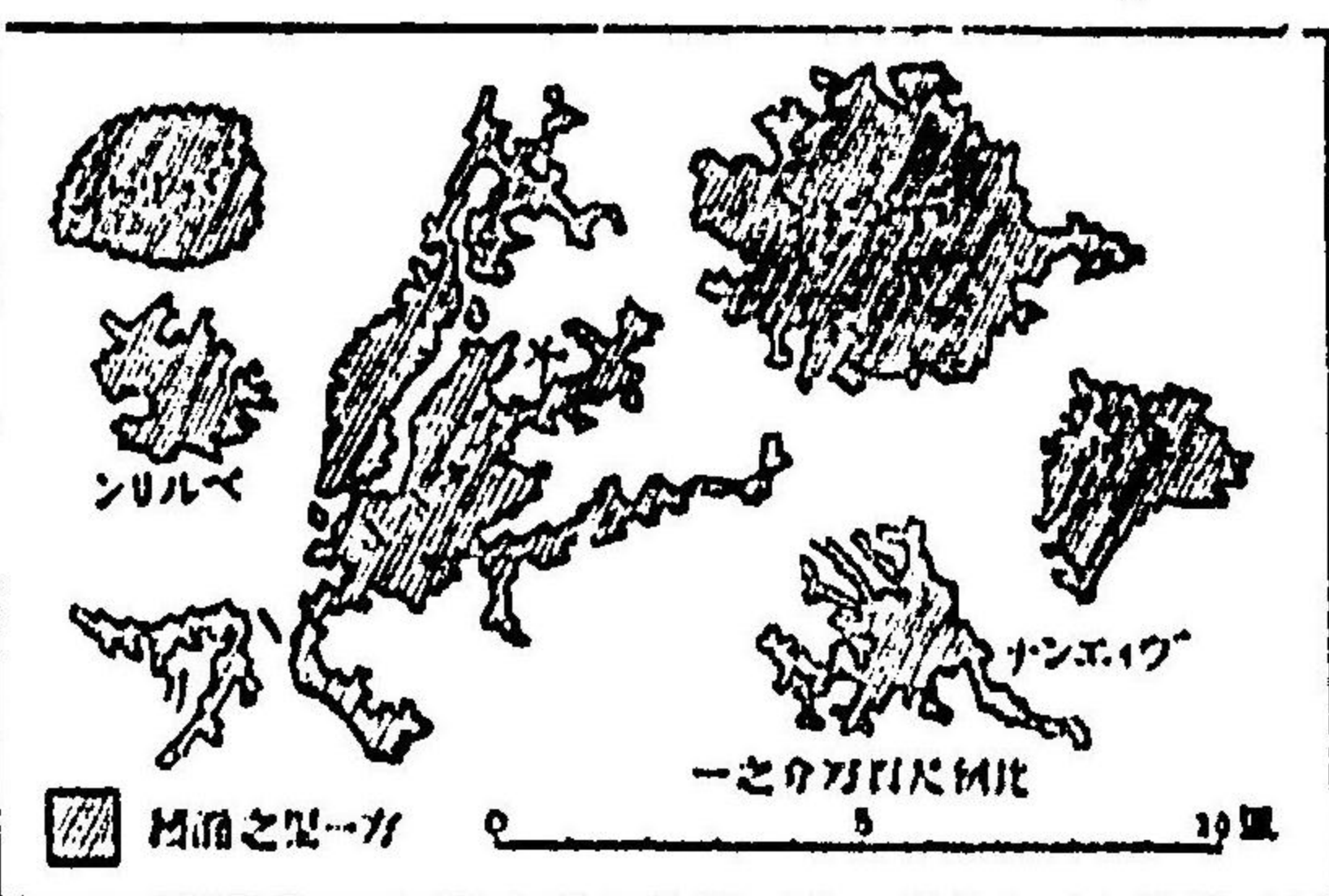
又面積に比して、鐵道の發達せることは、ベルギーと共に世界の首位に居る。
領地廣大にして、世界陸地の五分の一を占め、其の住民四億に達す。カナダ、印度、オーストラリアは其の主なるものにして、東洋に於ては香港を領し、威海衛を占領せり。而して其の領地全世界に亘れるを以て、太陽は常にイギリス帝國の領土内に没せず。

日出國の名ある我が國と、日没國の稱ある此の國とは、極東に於て現状及び全局の平和を維持することを希望し、且つ清帝國及び韓帝國の獨立と領土保全とを維持すること、及び該二國に於て、各國の商工業をして、均等の機會を得しむることに關し、特に利益關係を有するを以て、遂に最近

の時期に於て、同盟條約を締結するに至れり。

地方誌 London は此の國の首府にして、テムス河に跨り、主要部は左岸にあり、其緯度は日本の北端よりも稍高く、近傍グリーンニッチには有名なる天文臺あり。人口凡そ

ウエストミンスター寺院
セントマーガレット寺院
セントマーガレット寺院



大都會面積の比較

四百六十萬、外廓を合すれば、六百六十萬を超え、イギリス國人口の六分の一は、こゝに集中す、又面積に於ては北アメリカの大ニวยอร์กを除くの外これに及ぶものなく、世界第一の大都として、其の名空しからず。王宮セントポール寺の四塔、國會議事堂及びウエストミンスター寺院 Westminster

を擧ぐる所
にして又其
の陵墓の地
なり
ロンドン船
本郵船株
式會社に當
る航路に當

マンチェス
ターは一に
綿の都と稱
せらる

等特に壯觀なり、氣候は溫和なれども霧多し、又世界交通の衝に當り、出入船舶の多きこと、世界第一に居る、此の地には又本邦公使館及び總領事館あり。
リヴァプールは、此の國第三の都にして、ロンドンに匹敵する大港なり、外國貿易額は、此の國全體の三分の一を占む、以て此の府の繁盛なることを推知すべく、北アメリカとの貿易は、遂にロンドンに超過す。

マンチェスター。リヴァプールの東にありて、世界の最大工業地方の中心として知らる、鐵道四方に走りて、リヴァプールとは有名なる運河を以て通ず。
ヴァーミングムは、ロンドンの北西に當り、金屬器具の製造を以て其の名世界に高し、又ロンドンの北に、ケンブリッ

グラスゴー
は此の國第
二の都なり

デ、西にオクスフォードあり、共に有名なる大學あり。
グラスゴー。スコットランドの西岸に接近し、スコットランド工業の中心にして、造船業極めて盛んなり。エジンバラは其の東に當り、出版・醸酒の業盛大にして、有名なる大學の設あり。

ダブリンはアイルランド第一の都府にして、同島の東岸に位す。

世の生地なるを以て有名なり、ビスケイ灣沿岸は低平にして砂濱多く、澤湖少からず、

河の有名なるものにはセーヌ、ガロンヌ及びローヌあり、河口は往々開て三角江をなし、且つ潮波の侵入、急劇なり。

氣候は一般に溫和にして、特に南方に至るに従ひ、次第に高温なり、又東に往くに従ひ海洋の影響漸く減ず。

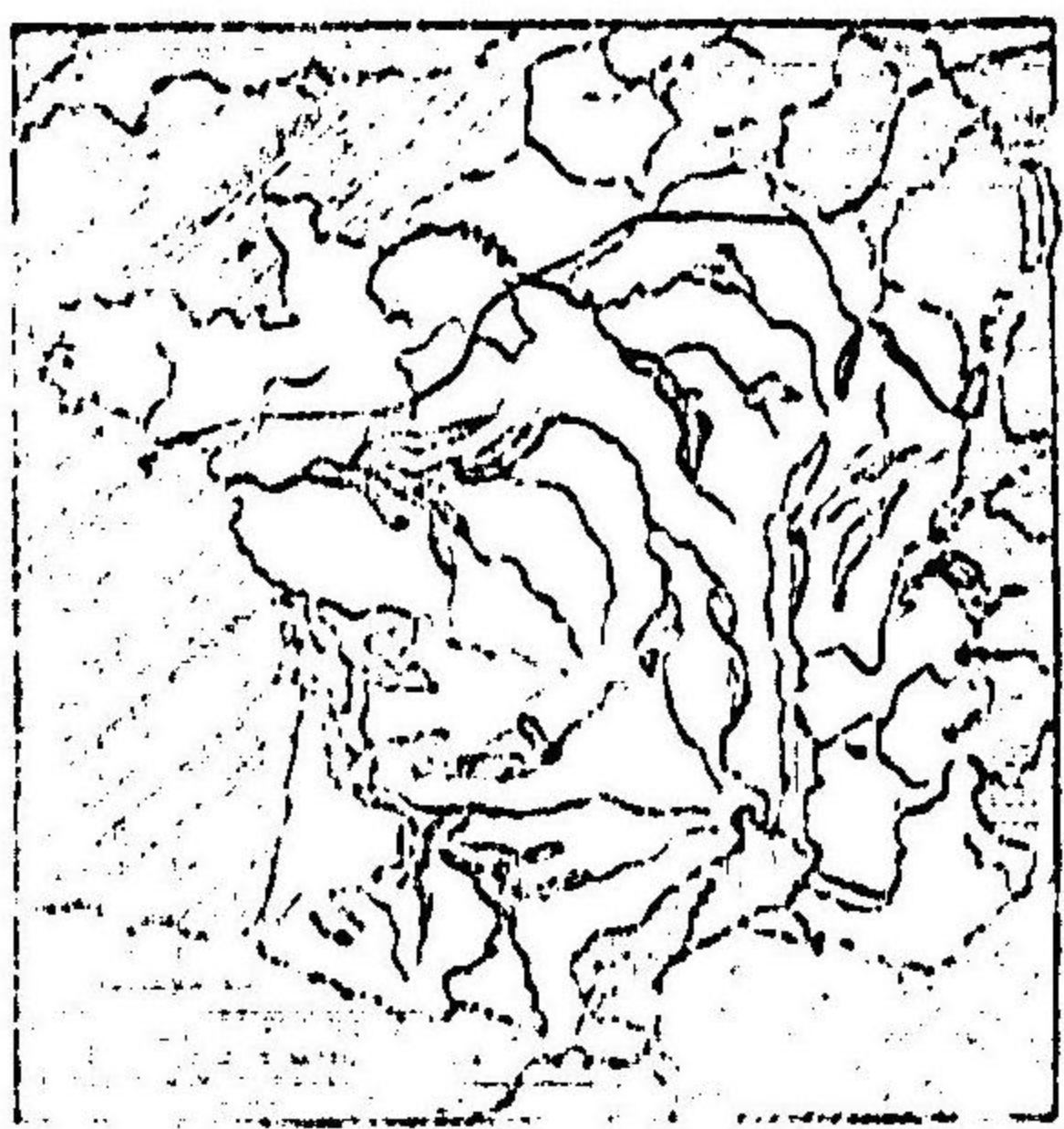
人文地理。人口は凡そ三千九百萬、人口著しく増加せざるを特性とす、國民大抵舊教を奉ず、高等及び中等教育は、甚だ完全なれども、初等教育はこれに比して未だ普及せず、フランス人の性質は快活なり、且つ都雅にして嗜好の優美なるは世に名高し。

政體は民主政體にして、行政權は大統領これを握ぎる、國

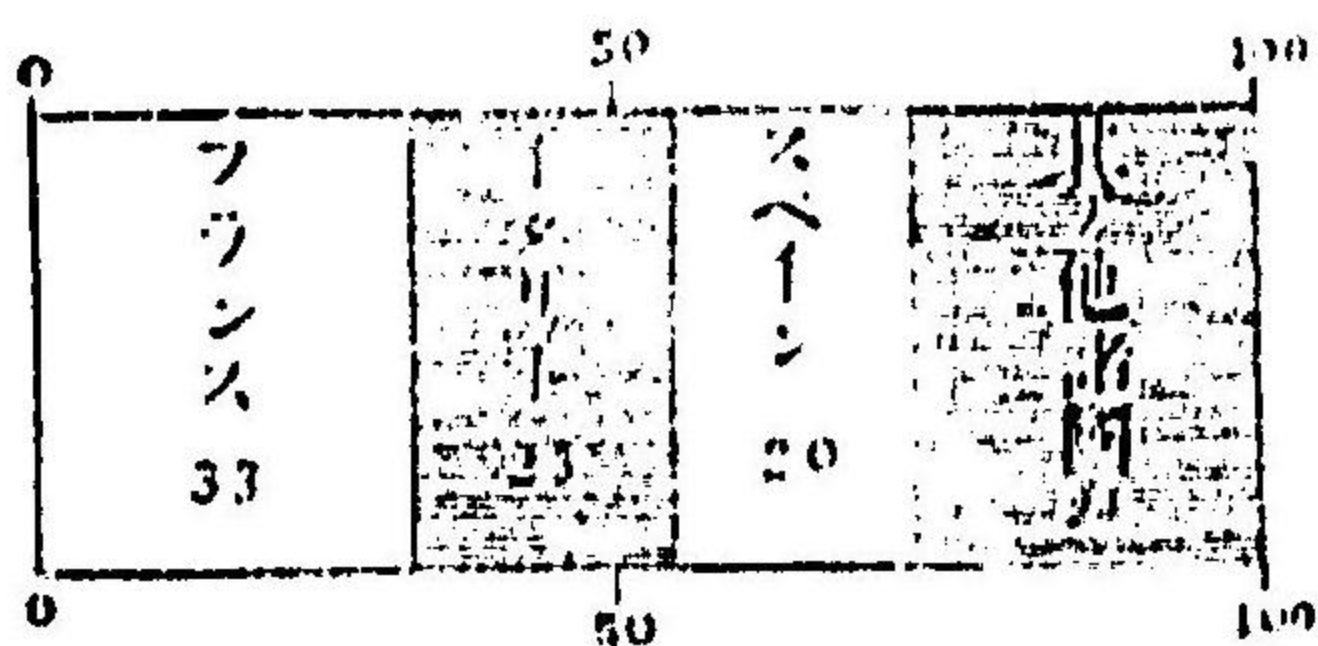
北東境には
多數の要塞
を配置して
防禦極めて
嚴なり

債の總額は、諸強國中第一に位す。

常備兵六十萬、戰時二百五十萬の陸軍を有し、其の盛んなることドイツに劣らず、海軍は非常に強盛にして、世界第二に位す、此の國はロシアと同盟して、ドイツに拮抗せんとす、傾向常に絶えず、又我が條約國重なるものゝ一なり。



葡萄の産地



(率分百) 額産酒葡葡

植物は三帯の別あり、穀物帶、葡萄帶、橄欖帶、これなり、葡萄の産出夥しく、葡萄酒の産額は世界第一にして、其の産地

は諸大河の沿岸にあり、又有名なるシャンパン酒は北部より産す。
Champagne

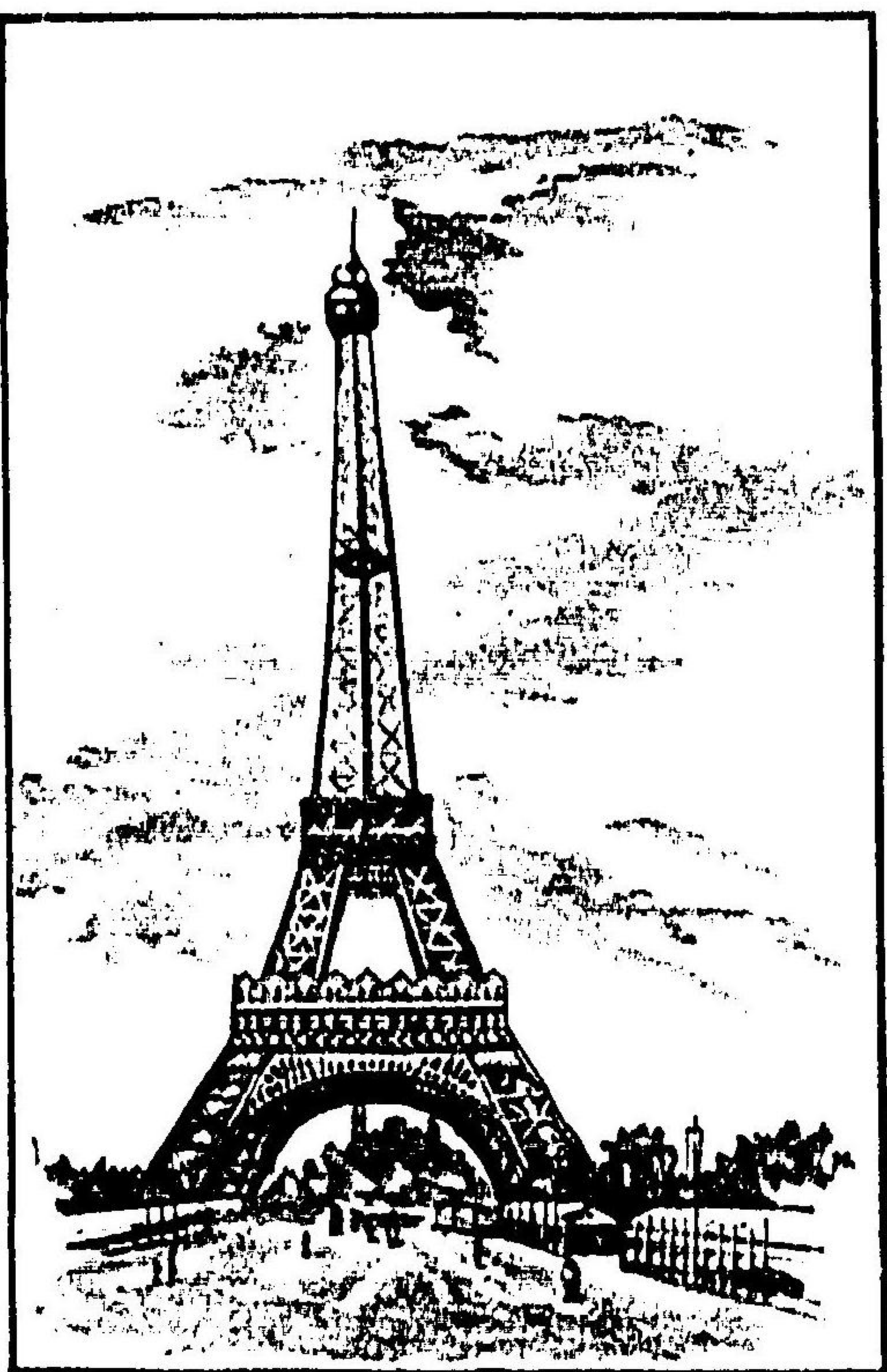
工業は極めて盛大なり、就中絹の製造は最も有名にして毛織物又これに次ぐ、而して精巧なる美術品は實に全世界に冠たり、此の國の位置三面海を控へ、商業上頗ぶる便利なる位置にあり、其の外國貿易の盛大なること北アメリカ合衆國に次ぎ、我が國との貿易も盛大にして、此の國は生絲を我が國より輸入し、縮緬吳呂を我が國へ輸出す、而して我國は此の國に多く賣り、此の國より少く買ふ。

此の國の領地は廣大にして、其の面積本國に二十一倍す、アフリカに於ても少からざる部分を有し、アルジェリアは其の最も重なるものなり、又東洋に於ては印度支那の一部

交通の發達はドイツに劣らず

を領し、又南清の廣州灣を占領す。

方誌。パリ。パリは此の國の首府にして、セーヌ河に跨り、人口二百五十餘萬、ヨーロッパ第二の都府なり、府を圍むに堅固なる廓壁を以てし、要塞の設け最も堅固なり、府内



塔ル・フ・エ

には、ノートルダム大寺、凱旋門、エッフェル塔等廣大なる建築物少からず、又其の劇場は最も有名な

り、服裝流行の中心、娛樂の別天地として、其の名世に知られ、又我が公使館は此の地に置かる。

ポルドーは、ガロンヌ河の下流に位し、葡萄酒の輸出を以て世界に名高く、アールは、セーヌ河口の右岸にあり、此の國第二の貿易港なり。

マルセイユ。地中海岸にありて、世界交通の要衝に當り、此の國第一の貿易港なり、リオンは、ローヌ河の中流地に位し、絹織物製造の中心にして、本邦領事館あり。

フランスの南東隅にモナコ侯國あり、面積一方里餘、人口一萬三千、其の陸軍は五人の士官、七十人の兵卒より成る。

主要統計比較表 (一九〇二年改定、凡ソ六方哩ハ一カ、一磅ハ十四、一志ハ五拾鐘ニ當ル)

事項	備考	フランス	日本
面積	單位方哩	二〇四、〇九〇	(除ク) 一四七、六五〇
人口ノ密度	一方哩	三八、五一七、九七五	四三、七六〇、八〇〇
歳入總額	單位磅	一四四、七九七、八七〇	二四、六九五、三一〇
歳出總額	單位磅	一四一、〇九一、四〇〇	二四、六四五、二〇〇
全人口	單位磅	三磅一三志	一一志
全債總額	單位磅	一、二〇二、二二五、九〇〇	五〇、二九六、七〇〇
全輸入總額	單位磅	一八〇、七二〇、〇〇〇	三三、〇四〇、二〇〇
全輸出總額	單位磅	一六六、二二〇、〇〇〇	一一、四九二、九九〇
全人口	單位磅	四磅一三志	九志

第六節 南部ヨーロッパ

六〇、スペイン。

地文地理。 ^{Spain}ボルチガールと共にアイベリア半島の地域を

占め、ヨーロッパの西端に位し、西は ^{Iberia}ボルチガールに接す、面積凡

そ三萬三千方里、我が國より少しく大なり。

地勢は一大高原にして、北境にピレニース山脈あり、國中

所々に高峻なる山脈あり、又海岸に狹長なる低地あり。

海岸は極めて出入に乏し、然れども良港少からず、其の南

端はジブラルタル海峡を隔て、アフリカのモロッコに對す。

大河多けれども、其の流れ多くは急にして、水利大ならず。

此の國は四様の氣候を有す、一、ピレニース山脈及び北方

の氣候は、降雨頗ぶる多く、二、東方斜面の地中海氣候は、稍温

和なり、三、南方のアフリカ氣候は、熱風多く吹き、四、中央高原

の乾燥なる氣候は、雨量乏しく、寒暑共に甚しく、此の部は最

も大なる面積を占む。

人文地理。人口凡そ一千八百萬、人口の密度は我が國の

半にも及ばず、國民殆んど皆其の國教たる舊教を信奉し、教

育は古昔高等教育を以て有名なりし所なれども、現今は中

等及び初等教育共に振はず、又闘牛の遊技は今尚ほ盛んに

行はる、政體は立憲王國なり。

葡萄酒及び鑛物の産額甚だ多く、銅は世界第二位に居る

礦物は鑛石の儘にてイギリスに輸出する高多し

473						
其他	イギリス	オーストラリア	ドイツ	チリ	日本	スペイン
38	19	23	25	28	54	265
合衆國						

銅産額(單位千噸)

舊時は通商及び探檢を以て世界に冠たりしが、今は國勢大に衰へ、近年北アメリカ合衆國と戦ひ、大敗の結果、其の主要なる領地を失ふに至れり。然れどもアメリカの諸國及び南洋諸島に、スペイン語の尙ほ行はるは、全く舊時勢力の然らしめし所なり。

首府をマドリドと云ひ、海面を抜くこと二千四百尺の高所にあり、内地に位するを以て、氣候は寒暑の差甚し、我が公使館は此の地に置かる。ジブラルタルはスペインの南端に近き小岬にして、イギリスの領地なり、地中海の門戸を扼し、堅固なる砲臺あり。

スペインの北東隅ピレニース山脈中に、アンドラの小共和國あり。面積凡そ三十方里、人口凡そ六千人、二十四人の議員より成れる議會これを支配す。

主要統計比較表 (一九〇二年統計、一磅八十圓、一志八五拾圓ニ當ル)

事項	備考	スベイン	日
面積	單位方哩	一九七、六七〇	(除海峽) 一四七、六五〇
人口	口	一八、〇八九、五〇〇	四三、七六〇、八〇〇
人口ノ密度	一方哩	九五・一	二九六・四
歳入總額	單位磅	三三、七〇一、三〇〇	二四、六九五、三一〇
歳入總額ノ人口割	單位磅	一磅一七志	一一志
歳出總額	單位磅	三五、一三五、九〇〇	二四、六四五、二〇〇
歳出總額ノ人口割	單位磅	一磅一八志	一一志
全國價總額	單位磅	三六七、五五三、二〇〇	五〇、二九六、七〇〇
全國人口割	單位磅	二〇磅六志	一磅三志
輸入總額	單位磅	三四、四九五、九〇〇	三三、〇四〇、二〇〇
輸入總額ノ人口割	單位磅	一磅一八志	一〇志
輸出總額	單位磅	二八、九五四、七〇〇	二一、四九二、九九〇
輸出總額ノ人口割	單位磅	一磅一二志	九志

六一、ポルチガル

Portugal

地文地理。スペインの西に在りて、ヨーロッパの極西に位置す。面積凡そ我が北海道に等しく、其の地域はアイベリア半島高原の西端を占め、沿岸殊に河流の口には平地少からず、又沿岸は出入多からず、河流多くして概ね皆スペインより來る、テージガス河最も大なり。

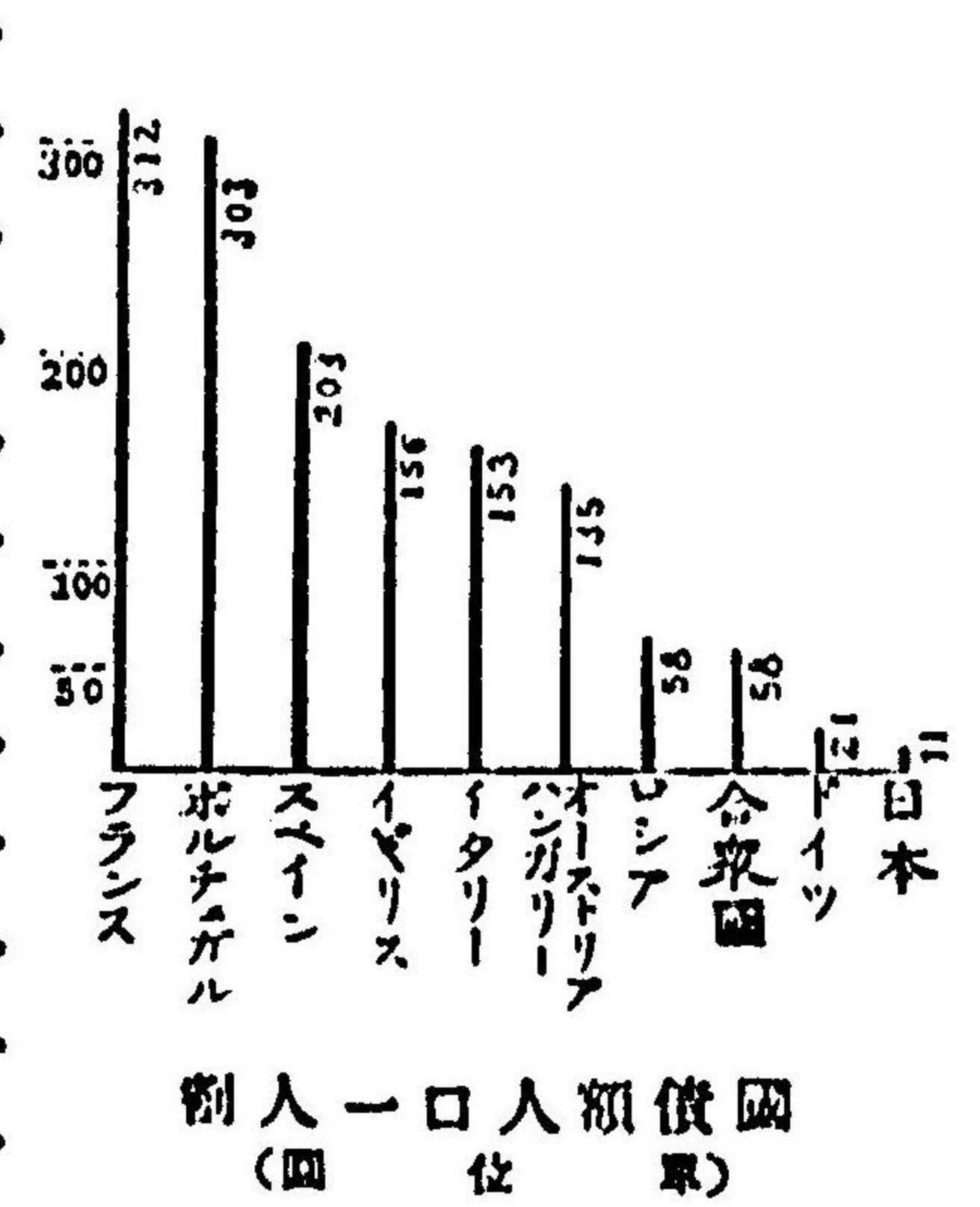
氣候は國の東境を除くの外、すべて大洋の影響を受け、氣候溫和にして、雨量多し。

人文地理。人口凡そ五百萬、國民殆んど皆舊教を奉ず、教育は未だ完全ならず。

政體は立憲王國にして、兵備は微弱なり、重もなる産業は農業にして、輸出品の最たるものは葡萄酒なり。

沿岸はヨーロッパ最多の雨量を有す

大西洋の中
アソール諸島
マダガスカル
は本國の
一部とす



此の國は昔時通商探檢を以てスペインと雄を争ひ、我が國へも鐵砲を傳へし國なりしが、今は全く昔時の勢なし。國債の高甚だ多く、人口一人に付き其の額は、フランスを除くの外、世界に比なく、財政の整理未だ成らず。

首府をリスボンと云ひ、テージガス河口に位す、港の安全なると、氣候の良好なるとは、共に此の地の特色なり。

此の國の領地は、アジアに於ては、香港の西なる澳門、アフリカに於ては、ギニアの一部等を始めとし、面積凡そ十三萬方里に達す。

主要統計比較表 (一九〇二年政黨年ニモル凡ソ六方哩ハ一カ、一磅ハ十圓、一志ハ五拾圓ニ當ル)

事項	備考	ポルトガル	日本
面積	單位方哩	三六、〇四〇	(新得) 一四七、六五〇
人口ノ密度	一方哩	五、〇四九、七〇〇	四三、七六〇、八〇〇
歳入總額	單位磅	一一、一八五、四三〇	二四、六九五、三一〇
歳出總額	單位磅	一一、二三六、七〇〇	二四、六四五、二〇〇
全人口	單位磅	一五二、九九三、七五〇	五〇、二九六、七〇〇
全人口	單位磅	三〇磅五志	一磅三志
全人口	單位磅	一一、五九二、六五〇	二二、〇四〇、二〇〇
全人口	單位磅	二磅五志	一〇志
全人口	單位磅	六、七六一、七五〇	二二、四九二、九九〇
全人口	單位磅	一磅六志	九志

六二、イタリー。

地文地理。 Italy ヨーロッパの南部に突出せる中央の大半島なり、北東はアドリアチク海に濱し、南西は地中海に濱す、面積凡そ一萬八千方里、我が本州より少しく大なり。

地形長靴の如く、其の爪先及び前脛に各大島あり。國の北部にはアルプス山系半圓形に走りて其の境を限り、其の支脈國の中部を貫通す、Apennine アペニン山脈これなり、地勢斯くの如きが故に、自から大陸部、半島部及び島嶼部の三分に分る、島嶼部とは、シシリー・サルヂニアの二大島及び其の他附近の小島を總稱す。此の國は頗ぶる火山に富み、地震も亦た多し、就中チーブルス府の東に在るヴスツ、アスは最も名あり。

北東部の沿岸は低平なるも、南部及び西部の沿岸は絶壁少からず。

地勢狭長なるを以て河流の大なるものなし、唯 Po ポー及び Tiber タイバーの二河稍大なりとす。

イタリーは地域南北に長きを以て各種の氣候を有せり、大陸部は大陸的氣候を有し、半島部は概して乾燥溫暖にして、氣候劇變なし、島嶼部は殆んど半熱帯の氣候を有す。唯所々にマラリアの流行を見るは、風土上の缺點なり。

人文地理。人口凡そ三千二



マラリア地方
(編りかけの部)

百萬多く舊教を奉ず、高等教育は、頗ぶる發達の緒に就き、初

等教育は漸次普及す、國人は古より詩歌音樂を好み、美術に長じたりしかば、古代の美術品の存在甚だ多く、各國の美術家來り遊ぶもの甚だ多し。

イタリーは、氣候溫和、火山饒多、風光明媚、美術卓絶、蠶業盛大等に於て、本邦に相似たり、而して古代に盛大に、近世に又勃興し、特に俄に強大なる海軍を有するに至りしが如き點に於ても、亦た我が國勢に相似たる所あり。

政體は立憲王國にして、海軍は世界の第七位を占む、又アフリカに於て、凡そ一萬七千方里の領地を有す、本邦條約國の一なり。此の國は昔時ローマの本國にして、ヨーロッパ中、ギリシアに次で、先進の文明國なりき。

國民多くは農を業とし、穀物、葡萄酒及び橄欖油を主産と

鐵及び石炭
に乏しきは
此の國の欠
點なり

す、養蠶は北部に盛んにして、絹の製造はヨーロッパ第一なり、牧畜業は北部に盛にして、水産は珊瑚を以て名あり、又硫黃及び大理石の産は他に類なし。

イタリーは海岸線の屈曲に富み、良港を有し、島嶼の大なるものありて、地中海に於て、好位置を占む、又ヨーロッパに於て、商工業の最も盛んなる諸國と相接し、大隧道はアルプス山を通じてフランス、オーストリア及び西部スウィツルと直接に通商し得べく、交通至て便なり。

地方誌。

Rome

Tiber

セントポール大寺

St. Paul

Vatican

チカン宮殿等宏大なる建築物甚だ多く、ローマ時代の遺跡も亦た少からず、我が公使館は此の地に置かる。

「チロブル
スを見て死
すべし」の
俚諺あり

チロブルスは國の南西岸にあり、此の國第一の都會にし
て、*Venezia* ヴェニス火山其の東に聳え、風光明媚なり、近傍には同
火山噴火の際埋没せし昔時の遺跡あり。
ジノアは北西岸にあり、此の國第一の貿易港にして、スウ
Genoa ィツル及びフランスに至る衝に當る。ジノアの南東にピ
サあり、斜塔を以て名高し。
Lia ヴェニスは北東岸にあり、數多の島上に立ち、市街恰も水上
Venice にあるが如し、市街の往來は皆小船による、これをゴンドラ
と云ふ、此の府は古來商業を以て有名なり。
サンマリノ共和國はイタリーの區域中に含まれ、面積
San Marino 凡そ四方里、人口凡そ一萬あり。

主要統計比較表 (一九〇一年統計年、凡ソ六方哩ハ
二方哩、一磅八十圓、一志ハ五拾圓ニ當ル)

事項	備考	イタリー	日本
面積	單位方哩	一一〇、六五〇	(除クテ) 一四七、六五〇
人口ノ密度	一方哩	三二、〇四五、四〇〇	四三、七六〇、八〇〇
歳入總額	單位磅	二八九・六	二九六・四
歳入人口割	單位磅	六九、〇五六、八七〇	二四、六九五、三二〇
歳出總額	單位磅	六九、二二二、五〇〇	二四、六四五、二〇〇
歳出人口割	單位磅	二磅三志	一一志
全國債總額	單位磅	四九〇、二四七、九五〇	五〇、二九六、七〇〇
輸入總額	單位磅	一五磅六志	一磅三志
輸入人口割	單位磅	六〇、二六二、二五〇	三三、〇四〇、二〇〇
輸出總額	單位磅	一磅一七志	一一志
輸出人口割	單位磅	五七、四九六、六六〇	二二、四九二、九九〇
全人口割	單位磅	一磅一五志	八志

六三、バルカン半島の諸邦。

Balkan

ヨーロッパの南部三半島中、最東にあり、三面海を繞らし、北方はダニュープ河の上流及びカーパシアン山脈を以て界を限ぎる。

地勢。北東部は平原低地多く、南西部は山多し、蓋しバルカン半島の地は、地勢錯雜して、山脈の方向も一定せざること、猶ほ其の邦國の數多あるが如し、其の山脈の稍大なるものは、中央に當り東西に走れるバルカン山脈なり。

海岸線の出入極めて多く、島嶼に富む、特に南東部には、多島海の稱あり。

Archipelago

北方は、大陸的氣候を呈し、南方に至るに従ひ、次第に海洋の影響を受け、氣候溫和、雨量多し。

人口の密度は大ならず、これ山岳の多きと、交通の不十分なると、商工業の未だ發達せざるによる、人種は數多あれども、其の主なるものはスラヴ種トルコ種等なり。

バルカン半島の地域は邦制上左の如く區劃せらる。

一、ボスニア及びヘルゼゴヴィナは北西部に位し、オーストリア・ハンガリーに屬す。

Bosnia

Herzegovina

二、モンテネグロはヘルゼゴヴィナの南東にある小侯國なり、其の海岸には何國の軍艦たりとも碇泊するを禁ず。

Montenegro

三、セルヴィアはボスニアの東にある小王國なり。

Serbia

四、ルーマニアはセルヴィアの北東に當れる王國にして、首府をブカレストと云ふ。ダニュープ河は國境及び東部を流

Bucharest

れ、河上はオーストリアの國境に至るまで列國共通の水路

たる規定あり。
 五、ブルガリアはルーマニアの南にあり、名義上トルコに
BULGARIA
 屬すれども、内治は獨立せる小侯國なり。

主要統計比較略表（一九〇二年、一九〇四年、一九〇六年、一九〇八年、一九一〇年、一九一二年、一九一四年、一九一六年、一九一八年、一九二〇年、一九二二年、一九二四年、一九二六年、一九二八年、一九三〇年、一九三二年、一九三四年、一九三六年、一九三八年、一九四〇年、一九四二年、一九四四年、一九四六年、一九四八年、一九五〇年、一九五二年、一九五四年、一九五六年、一九五八年、一九六〇年、一九六二年、一九六四年、一九六六年、一九六八年、一九七〇年、一九七二年、一九七四年、一九七六年、一九七八年、一九八〇年、一九八二年、一九八四年、一九八六年、一九八八年、一九九〇年、一九九二年、一九九四年、一九九六年、一九九八年、二〇〇〇年）

事項	備考	セルヴィア	日本
面積	單位方哩	一八、四六〇	(除海峽) 一四七、六五〇
人口ノ密度	一方哩	一一五	二九六・四
歳入總額	單位磅	三、一一一、五九〇	二四、六九五、三一〇
歳入總額	單位磅	一磅六志	一一志
歳入總額	單位磅	三、〇五〇、三七〇	二四、六四五、二〇〇
歳入總額	單位磅	一磅六志	一一志
歳入總額	單位磅	一六、九八九、〇三〇	五〇、二九六、七〇〇
歳入總額	單位磅	七磅六志	一磅三志
歳入總額	單位磅	一、八五七、一四四	二二、〇四〇、二〇〇
歳入總額	單位磅	一六志	一〇志
歳入總額	單位磅	二、六二九、八〇〇	二二、四九二、九九〇
歳入總額	單位磅	一磅二志	九志

主要統計比較表 (一九〇二年政黨年報ニヨル、凡ソ六方哩ハ) (一九〇二年政黨年報ニヨル、凡ソ六方哩ハ)

事項	備考	トルコ (アシア及びヨーロッパ)	日本
面積	單位方哩	七一六、一五〇	(滿洲) 一四七、六五〇
人口	單位方哩	二三、六三一、六〇〇	四三、七六〇、八〇〇
人口ノ密度	一方哩	三三	二九六・四
歳入總額	單位磅	一七、〇三四、九七〇	二四、六九五、三一〇
歳入總額	單位磅	一四志	一一志
歳出總額	單位磅	一七、八一六、六〇〇	二四、六四五、二〇〇
歳出總額	單位磅	一五志	一一志
國債總額	單位磅	一四五、一〇八、〇〇〇	五〇、二九六、七〇〇
國債總額	單位磅	六磅三志	一磅三志
輸入總額	單位磅	一九、二二三、七四〇	二二、〇四〇、二〇〇
輸入總額	單位磅	一六志	一〇志
輸出總額	單位磅	一三、八八五、六〇〇	二二、四九二、九九〇
輸出總額	單位磅	一一志	九志

乾葡萄酒は重なる物産なり

七、ギリシアはバルカン半島の南端に位し、コリンス地峽 *Corinth* によりて殆んど二分せらる。近時此の部に運河を開通せり。面積我が北州より小に、人口凡そ二百四十萬、ギリシア種に屬し、ギリシア教を奉ず、教育は未だ普及せず、首府アゼン *Athens* スには大學の設けあり。政體は立憲王國にして、議會は一院より成る。近時我が國と通商條約を締結せり。舊時はヨーロッパ先進國の第一を占め、文學技藝の淵源たりき、其の後久しくトルコの領地たりしが、諸強國の力によりて、遂に獨立するを得たり、而して近來又トルコと戦を交へ、大敗せしより、國勢益振はず

主要統計比較表 (一九〇二年以來各國ニ關シテ、凡ソ六カ方哩ノ一カ方哩ニ一志ハ五拾哩ニ當ル)

事項	備考	キ	リ	シ	ア	日	本
面積	單位方哩						二五、〇一四
人口ノ密度	一方哩						二、四三三、八〇〇
歲入總額	單位						九七・三
歲入總額	單位						四、一五四、九〇〇
歲出總額	單位						一、一四志
國債總額	單位						二、五四九、七〇〇
人口總額	單位						一、一志
輸出總額	單位						三、二、四二〇、九八〇
輸入總額	單位						一三、一三志
人口總額	單位						五、一三三、四四〇
輸出總額	單位						二、二志
輸入總額	單位						三、七八六、六三〇
人口總額	單位						一、一志

發賣所

不許複製

明明明明明
治治治治治
三三三三三
十十十十十
五五五五五
年年年年年
十十三三二二
月月月月月

發行兼印刷者

著者

東京市四谷區四谷木村町十九番地
山上萬次郎

東京市京橋區銀座堂丁口廿二番地
大日本圖書株式會社

右代表者
專務取締役 宮川保全

東京市京橋區銀座堂丁口廿二番地
大日本圖書株式會社

大阪市東區北久太郎町四丁目十七番屋敷

大日本圖書株式會社支社

各府縣下 特約販賣所

(最近中學地理教科書外國之部(附))
定價各卷金五拾錢

大日本圖書株式會社出版圖書特約販賣所

丸卷、丸卷、滿山、青野、内田、長島、淺見、大倉、林、藤喜、水野、宮川、山田、高橋、大橋、阪本、金剛、
 穴山、松色、北隆館、東海信文社、森江、杉村、中野、三見、**松村**、橋原、三木、柳原、石井、前川、丸
 卷、石田、青岡、岡島、金川、中村、小倉、中川、金尾、此村、田中、北村、本田、**村上**、藤井、松田、
 河合、若林、梅原支店、**田沼**、丸屋、天野、**青見**、廣瀬、菅沼、豐澤、文林堂、
 大塚、**川根**、片野、**安屋**、關西圖書會社、**小松**、藤原、四澤、曾川、今村、宮教、
 日新堂、丸山、小林、南川、**水田**、高橋、是間、中村、**長島**、水野、水村、**平野**、
 鹿野、高守、初野、**川又**、伊沼、鯉井、飯塚、**内山**、森山、北城、**荒井**、甲斐山、
 佐藤、**梅原**、藤崎、**佐藤**、文澤堂、**牧野**、五十嵐、津川、市川、日向、鈴木、白
 崎、**成見**、藤島、東海林、大澤、**今泉**、伊藤、浦山、**小池**、曾間、白鳥、川南、
 池田、八木、松色、山本、山崎、最上行、**柳田**、**山川**、櫻橋、松田、日原、高橋、四村、坂
 高橋、坂、中山、**中田**、磯野、**熊谷**、中井、福浦、石田、木村、**木原**、
 品川、四村、**武内**、**鈴木**、原田、兒玉、**藤谷**、徳岡、今井、**川岡**、國
 山、大塚、安田、**白銀**、小原、藤川、中原、村田、**宮崎**、入江、筒井、**黒崎**、
 向井、土肥、**澤水**、**宮井**、**淺野**、真安、**笠田**、宇部宮、吉野堂、
 松井、津野、秋澤、谷、野崎、**島英堂**、安中、**河内**、牧川、**澁竹**、石田、博文社、
長崎、**甲斐**、**甲斐**、守田、野依、格澤、**青田**、久永、**野見城**、有武、

出版圖書概覽

- **倫理學說批判** 全二冊，定價金貳圓五拾，郵稅四錢
- **修身教科書** 全五冊，定價金貳圓，郵稅四錢
- **修身教授提要** 全一冊，定價金壹圓貳拾，郵稅四錢
- **聖諭大全** 全四冊，定價金壹圓四拾，全五冊，定價金壹圓九拾
- **中學國文教程** 全十冊，定價各冊金貳拾錢，郵稅四錢
- **女子中等國文** 全八冊，定價各冊金貳拾錢，郵稅四錢
- **高等女學讀本** 全十冊，定價各冊金貳拾錢，郵稅四錢
- **漢文新讀本** 全十冊，定價各冊金貳拾錢，郵稅四錢
- **明治時代文範** 全一冊，定價金六拾五錢，郵稅拾錢
- **皇國文法釋義** 全一冊，定價金壹圓，郵稅拾六錢
- **國語法階梯** 全二冊，定價金壹拾五錢，郵稅六錢
- **皇國文典** 全三冊，定價金六拾錢，郵稅四錢
- **新式日本文典** 全四冊，定價金壹圓貳拾錢，郵稅拾四錢
- **日本文學史綱** 全一冊，定價金五拾錢，郵稅八錢
- **國語學小史** 全一冊，定價金壹圓貳拾錢，郵稅拾錢
- **漢文通則** 全一冊，定價金五拾錢，郵稅八錢
- **文部省英語讀本** 全五冊，定價金壹圓七拾七錢，郵稅拾錢
- **英語教授法** 全一冊，定價金拾七錢，郵稅不取
- **教室用英語讀本** 全一冊，定價金拾八錢，郵稅貳錢
- **地理學教科書** 全一冊，定價金七拾錢，郵稅八錢
- **地理學教科書** 全三冊，定價金壹圓貳拾錢，郵稅拾四錢
- **地理學教科書** 全一冊，定價金九拾錢，郵稅拾錢

東京 大日本圖書株式會社
 明治三十五年六月

大日本圖書株式會社出版圖書概覽

- **國語法階梯** 全二冊，定價金壹拾五錢，郵稅六錢
- **皇國文法釋義** 全一冊，定價金壹圓，郵稅拾六錢
- **皇國文典** 全三冊，定價金六拾錢，郵稅四錢
- **新式日本文典** 全四冊，定價金壹圓貳拾錢，郵稅拾四錢
- **日本文學史綱** 全一冊，定價金五拾錢，郵稅八錢
- **國語學小史** 全一冊，定價金壹圓貳拾錢，郵稅拾錢
- **漢文通則** 全一冊，定價金五拾錢，郵稅八錢
- **文部省英語讀本** 全五冊，定價金壹圓七拾七錢，郵稅拾錢
- **英語教授法** 全一冊，定價金拾七錢，郵稅不取
- **教室用英語讀本** 全一冊，定價金拾八錢，郵稅貳錢
- **地理學教科書** 全一冊，定價金七拾錢，郵稅八錢
- **地理學教科書** 全三冊，定價金壹圓貳拾錢，郵稅拾四錢
- **地理學教科書** 全一冊，定價金九拾錢，郵稅拾錢
- **倫理學說批判** 全二冊，定價金貳圓五拾，郵稅四錢
- **修身教科書** 全五冊，定價金貳圓，郵稅四錢
- **修身教授提要** 全一冊，定價金壹圓貳拾，郵稅四錢
- **聖諭大全** 全四冊，定價金壹圓四拾，全五冊，定價金壹圓九拾
- **中學國文教程** 全十冊，定價各冊金貳拾錢，郵稅四錢
- **女子中等國文** 全八冊，定價各冊金貳拾錢，郵稅四錢
- **高等女學讀本** 全十冊，定價各冊金貳拾錢，郵稅四錢
- **漢文新讀本** 全十冊，定價各冊金貳拾錢，郵稅四錢
- **明治時代文範** 全一冊，定價金六拾五錢，郵稅拾錢
- **皇國文法釋義** 全一冊，定價金壹圓，郵稅拾六錢
- **國語法階梯** 全二冊，定價金壹拾五錢，郵稅六錢
- **皇國文典** 全三冊，定價金六拾錢，郵稅四錢
- **新式日本文典** 全四冊，定價金壹圓貳拾錢，郵稅拾四錢
- **日本文學史綱** 全一冊，定價金五拾錢，郵稅八錢
- **國語學小史** 全一冊，定價金壹圓貳拾錢，郵稅拾錢
- **漢文通則** 全一冊，定價金五拾錢，郵稅八錢
- **文部省英語讀本** 全五冊，定價金壹圓七拾七錢，郵稅拾錢
- **英語教授法** 全一冊，定價金拾七錢，郵稅不取
- **教室用英語讀本** 全一冊，定價金拾八錢，郵稅貳錢
- **地理學教科書** 全一冊，定價金七拾錢，郵稅八錢
- **地理學教科書** 全三冊，定價金壹圓貳拾錢，郵稅拾四錢
- **地理學教科書** 全一冊，定價金九拾錢，郵稅拾錢

（明治三十五年六月）

出版圖書概覽

- 中等教科用地圖 日本全一冊，定價金壹拾五錢，郵稅六錢
- 中等教科用地圖 外國全一冊，定價金四十四錢，郵稅六錢
- 中等帝國史 全一冊，定價金五拾八錢，郵稅八錢
- 訂正初等東洋史 全一冊，定價金八拾錢，郵稅拾貳錢
- 訂正東洋歷史地圖 全一冊，定價金四拾錢，郵稅貳錢
- 中等東洋史 全三冊，定價金壹圓五拾錢，郵稅三拾五錢
- 中等西洋史 全一冊，定價金七拾錢，郵稅拾貳錢
- 中學理化示教 全一冊，定價金八拾錢，郵稅拾貳錢
- 物理化學教科書 全一冊，定價金八拾錢，郵稅拾貳錢

- 物理學教科書 全一冊，定價金七拾五錢，郵稅拾貳錢
- 物理學問題集 全一冊，定價金五拾錢，郵稅六錢
- 物理學一般論 全二冊，定價金六圓五拾錢，郵稅拾貳錢
- 物理學教科書 全二冊，定價金六圓五拾錢，郵稅拾貳錢
- 中等化學新編 全一冊，定價金八拾五錢，郵稅拾貳錢
- 中等化學新編 全一冊，定價金五拾錢，郵稅八錢
- 植物學新編 全一冊，定價金六拾五錢，郵稅八錢
- 普通植物誌 全一冊，定價金壹圓七拾錢，郵稅拾四錢
- 植物採集便覽 全一冊，定價金五拾五錢，郵稅四錢
- 日本植物編 全一冊，定價金壹圓四拾錢，郵稅拾貳錢

東京大日本圖書株式會社 正收月六年五十三油明

出版圖書概覽

- 動物教本 全一冊，定價金八拾五錢，郵稅八錢
- 生理教本 全一冊，定價金六拾五錢，郵稅八錢
- 生理教授提要 全一冊，近刊
- 普通體操法 全一冊，定價金五拾錢，郵稅六錢
- 兵式體操法 全一冊，定價金六拾錢，郵稅六錢
- 瑞典式體操 全一冊，近刊
- 兩中體育談 全一冊，定價金七拾錢，郵稅八錢
- 室內體育 全一冊，定價金五拾錢，郵稅六錢
- 衛生美容術 全一冊，定價金貳拾五錢，郵稅貳錢
- 中等日本臨畫帖 全六冊，定價金壹圓四拾五錢，郵稅拾貳錢
- 中等畫本 全六冊，定價金壹圓四拾五錢，郵稅拾貳錢

- 女子高等講帖 全八冊，定價金壹圓四拾六錢，郵稅拾六錢
- 數學教授法講義 全一冊，定價金九拾錢，郵稅拾貳錢
- 算術條目及教授法 全一冊，定價金六拾錢，郵稅六錢
- 算術小教科書 全二冊，定價各冊金五拾錢，郵稅六錢
- 算術教科書 全三冊，定價各冊金七拾五錢，郵稅八錢
- 代數學教科書 全二冊，定價各冊金六拾五錢，郵稅六錢
- 代數學教科書 全一冊，定價金七拾錢，郵稅八錢
- 幾何學小教科書 全二冊，定價各冊金四拾錢，郵稅拾四錢
- 幾何學教科書 全三冊，定價各冊金四拾五錢，郵稅拾四錢
- 英文幾何學 全三冊，定價各冊金四拾錢，郵稅四錢
- 幾何學講義 全一冊，定價金七拾五錢，郵稅六錢

東京大日本圖書株式會社 正收月六年五十三油明

出版圖書概覽

- 近世平面幾何學 全一册、定價金七拾五錢
- 三角法教科書 全一册、定價金七拾五錢
- 法制教科書 全一册、定價金五拾八錢
- 經濟教科書 全一册、定價金六拾八錢
- 哲學史要 全一册、定價金八拾五錢
- 論理學綱要 全一册、定價金八拾五錢
- 修辭法 全一册、定價金八拾五錢
- 社會學 全一册、定價金八拾五錢
- 落窪物語大成 全四册、定價金四拾八錢
- 視話法 全一册、定價金六拾錢
- 海軍圖說 全一册、定價金五拾五錢

謹告

● 帝國文學 每月定價四圓、金拾貳錢

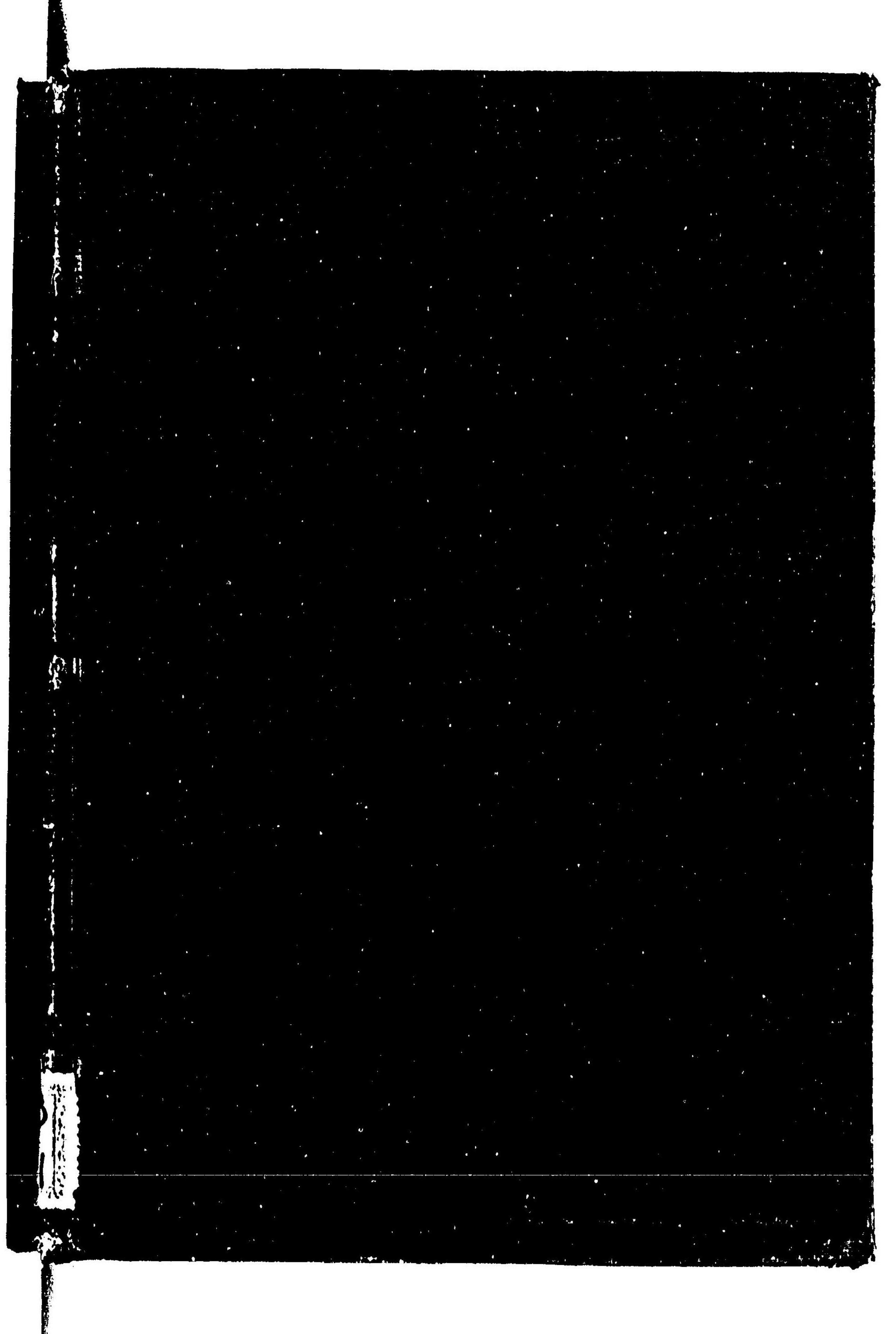
● 當社は明治二十三年創立以來、文部省及名家大家の編著に成れる各種學校の教科書に、有益なる圖書を出版發賣す。強耐久を旨とし、兼て体裁の美麗に及ぼす。又見本と賣品とを異にするが如き通弊は當社の斷じて爲さざる所とす。圖書の供給は當社の特に意を用ゐる所。就中教科書は豫め十分の準備を爲し、置くを以て學期に及んで品切を告ぐるが如きは決して之れ無きを期す。若し各地の當社特約販賣所に於て高價に應ずること能はざる場合あらば、直接に當社へ宛て御注文あらんことを希望す。當社出版圖書解説附録目録入用の方は、往復端書にて申込あれば無代進呈す。

● 丁酉倫理會講演集 定價每册、金拾錢

東京 大日本圖書株式會社

明治三十五年六月改正

93
261



93
261

